



おおぞら

ぎがい

大空町議会だより 第12号
2009(平成21)年5月29日発行

5

2009



● お兄さんやお姉さんの前でちょっぴり緊張。でも堂々と元気良く挨拶できた女満別小学校の49名の新一年生。

町長施政方針(予算執行方針)	P 2
定例会の議案と質疑	P 3～6
予算審査特別委員会(予算審議) ...	P 7～12
町政を問う(一般質問9名)	P13～26
臨時会の議案と質疑	P27～28

議会・委員会活動レポート	P29
議員定数等調査特別委員会報告 ...	P30
要望意見書	P31
議会日誌	P32
有料広告の募集	P32

町長施政方針(予算提案説明)

●定例会の初日(3月11日)、町長は予算提案等について施政報告を行いました。以下、要旨(抜粋)を紹介いたします。

※詳細等は、「広報おおぞら4月号」に掲載されていますのでご覧ください。



山下 英二 町長

施政・予算執行方針

大空町長としての重責を担って以来、4年目を迎え、任期の最終年を迎えようとしているが、町民の皆さんの温かいご支援と議員各位からのご指導に対し、心より深く感謝を申し上げます。

グローバル化を象徴する出来事として、昨年9月のアメリカ合衆国に端を発したリーマンショックは、瞬く間に世界を席卷し、世界は同時不況にさらされている。昨年の降ヒョウなども温室効果ガスによる地球温暖化の影響が考えられ、環境問題は地球規模の課題となっており、持続可能な循環型社会の構築に向けて、一人一人の取組みが必要である。

全国学力調査や運動・能力調査で地域の課題が明らかになった。地域における医療不安、健康保険制度の改変による不公平感も存在する。税収や地方交付税の減収による財源不足、右肩上がりとなっている社会保

障費や公債費などが自治体の財政の硬直化を招き、地方分権・地域主権の中で責任ある政策判断が求められている。

本町は、合併という新しい形態の中でまちづくりがスタートし、この3年間に、東藻琴国民健康保険診療所及び町営住宅の建設、藻琴山温泉芝桜公園の整備、特別養護老人ホーム女満別ドリーム苑の増床やJ.A麦類乾燥調製貯蔵施設の整備支援など、様々な社会資本の充実に取り組んできた。一方で、総合計画や各種計画の策定、財政健全化への取組み、行政改革に伴う使用料・手数料の見直し検討、地域担当職員制度や自治基本条例の制定に向けた論議など、ソフト面のまちづくりにも挑戦してきた。

時代は、常に新しい課題を生み出している。私たちは課題解決にあらゆる制度と手法を活用し、英知を傾け、積極果敢に取り組んでいきたい。

まちづくりの

基本的な考え方

- 芝桜公園や女満別空港に代表される素晴らしい財産があり、これらの個性を活かしたまちづくりを目指す。
- 生涯学習を通じて町民の交流拡大と融合を図る。
- 広報広聴活動の活用と地域担当職員制度の充実に図り協働のまちづくりを進める。
- 自治会連合会等と連携し、地域活動の支援に取り組む。
- 就学前の子供たちの子育て環境の充実に取り組む。
- 特別支援教育、英語教育の体制充実と学校施設の整備・建設に着手する。
- 中心的産業である農林業の振興、商工業や観光との連携による地域の産業おこしの支援に取り組む。
- 地域の雇用確保の観点から、公共事業等の確保に努める。
- 高齢者の方が地域で安心して暮らしていくため、人的な見守りの体制整備を進める。
- 循環型社会に対応するため、生ごみ分別の試行を実施する。
- 歩道、水道、合併処理浄化槽の整備等の生活環境の充実に取組み、安心して暮らせる地域づくりを目指す。

● 定例会の議案と質疑 ●

●大空町として四年目となる平成21年第1回定例町議会は、3月11日から18日までの8日間の会期で開かれ、次の町提出案件・議員提出案件などが決まりました。

大空町総合計画の2年目となる平成21年度予算を審議！

平成21年度予算総額99億7,254万円

人事等案件

【教育委員会委員の任命】
 島山俊弘さん（山園、平成21年6月11日任期満了）の再任に同意（任期4年）しました。

【固定資産評価審査委員会委員の選任】
 中道源雄さん（中央区、平成21年6月11日任期満了）、田村光男さん（西4条2丁目、平成21年6月11日任期満了）、藤井清志さん（開陽、平成21年6月11日任期満了）の再任に同意（任期3年）しました。

【網走支庁管内町村公平委員会委員の選任】
 宇佐美不二夫さん（平成21年3月31日任期満了）の後任委員に、安井敏和さん（清里町）の選任に同意（任期4年）しました。

一般案件

【町道路線の廃止及び認定に伴う路線名・延長の変更】
 旧両町村がそれぞれ管理し、別々の路線名が付いて両地区にまたがって整備されている町道について、一本の路線に統合し、次のとおり維持管理を行うことについて了承しました。

町道日進西倉線 町道千草64号線 町道千草79号線 ↓（廃止・統合） 町道千草日進線 (L=2,415.53m)	町道日進西倉線 町道西倉60号線 ↓（廃止・統合） 町道西倉日進線 (L=4,807.29m)
---	---

質疑

町道開陽福富線
 上東福富102号線
 ↓（廃止・統合）
 町道上東開陽線
 (L=8,886.23m)

◆町道千草日進線の状況について
 豊島議員 町道千草日進線の冬期間の通行等について伺う。

建設課長 日進から千草に抜ける道路については、夏場のみ通行可としており、冬期間は除雪をしない通行止めが区間としている。

【町道路線の見直しに伴う起点の変更】
 町道日進西倉1号支線並びに、町道千草79号線の見直しに伴い、それぞれの路線の起点を変更することについて了承しました。

町道日進西倉1号支線並びに、町道千草79号線の見直しに伴い、それぞれの路線の起点を変更することについて了承しました。

【町道路線の変更】

町道末広165号線の道路改良事業に伴う起点を次のとおり変更することについて了承しました。

東藻琴末広79番地1地先 ↓ 東藻琴末広道道網走川湯線交点	東藻琴末広51番地1地先 ↓ 東藻琴末広町道上東末広164号線交点
起点	終点

【医療事故に対する和解及び損害賠償額の決定】
 東藻琴国民健康保険診療所において発生した医療事故に対する和解及び損害賠償の額について了承しました。

【北網広域圏組合の解散に伴う財産処分の変更】
 圏域の観光振興等への活用を目的に設立された「北網地域活性化協議会」へ北海道への配分額1億円が移譲されることに伴う財産処分の変更について了承しました。

町道日進西倉1号支線並びに、町道千草79号線の見直しに伴い、それぞれの路線の起点を変更することについて了承しました。

条例等案件

【介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定】
 介護報酬の改訂に伴う介護保険料の急激な上昇の抑制を図ると共に、被保険者に対する負担軽減措置の周知等を行うための財政措置として、国は、平成20年度第2次補正予算で介護従事者処遇改善臨時特例交付金を市町村に交付することとなったことから、同交付金の受入れのため、同基金の設置に関する条例の制定を可決しました。

質疑

小島議員 基金の額について、国からの介護従事者処遇改善臨時特例交付金（400万円）の範囲内に限定した理由等について伺う。

福祉課長 介護従事者処

遇改善臨時特例基金積立金(400万円)に

ついては、介護従事者の処遇改善を図るための介護報酬改定に伴う介護保険料の上昇分に充当することとされており、国の交付金の中で対応することが妥当であると判断している。

【藻琴山温泉芝桜公園条例の一部改正】

藻琴山温泉芝桜公園内の施設整備及び都市公園条例との整合を図るため、本文中の文言修正等に伴う同条例の一部改正を可決しました。

質疑

小島議員 管理上の問題として、外売店についてはどのように考えているのか伺う。

産業振興課長 外売店の土地の部分については、芝桜公園の管理の範囲に含まれているが、建物自体は町の所有物ではないことから、今回の条例に反映されていないのでご理解願いたい。

【職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正】

町職員の勤務時間について、人事院勧告を受けた国家公務員の法律の一部改正に準拠し、4月から(旧)週40時間↓(新)週38時間(45分)に変更することに伴う同条例の一部改正を可決しました。

役場・総合支所の開庁時間

平成21年4月1日から、昼休み時間に変更となりました。

変更後	
午前	8:45~12:00
午後	12:00~13:00
午後	13:00~17:30

【職員の育児休業等に関する条例の一部改正】

条例中の文言修正等に伴う同条例の一部改正を可決しました。

【職員の給与に関する条例の一部改正】

条例中の文言修正等に伴う同条例の一部改正を可決しました。

【町税条例の一部改正】

平成20年度税制改正により、個人住民税における寄附金控除の対象範囲が拡充(町内に事務所を

有し、地域住民の福祉増進に寄与する法人または団体)されたことから、町も同様に措置を講じることに伴う同条例の一部改正を可決しました。

【減債基金条例等の一部改正】

減債基金や公共施設等整備基金など本町の11の基金について、一時的な資金繰りのために繰替え運用し、一会計年度に留まらず基金を一般会計で運用できるよう整備することに伴う同条例の一部改正を可決しました。

【介護保険条例の一部改正】

東藻琴地区における介護支援計画の作成業務を行っている居宅介護支援

事業所の廃止並びに、第4期高齢者保険福祉計画に基づく介護保険料率の見直しに伴う同条例の一部改正を可決しました。

【廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正】

高齢者や単身者などの世帯の方々から、10%以下の処理券の要望があることや、平成21年度から生ごみの分別処理の試行を予定していることから5%用の処理券(10円)の追加に伴う同条例の一部改正を可決しました。

【給排水事業経営審議会条例の一部改正】

簡易水道、下水道及び個別排水処理事業の経営に関する事項について調

一回メモ

(基金とは?)

- 基金(地方自治法第241条)とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積立て、定額の資金を運用するために設けられる財産をいい、基金の設置目的を条例で定め、確実かつ効率的に運用し、目的外に取り崩すことはできません。
- 基金の種類には、①財産を維持するための基金、②資金を積立てるための基金、③定額資金を運用するための基金などがあります。

予算案件

【平成20年度一般会計補正予算(第11号)】

歳入歳出予算にそれぞれ1,662万円追加し、総額が86億9,896万円となりました。

▼歳入の主なものとして、定額給付金給付事務費・事業補助金

1億3,587万円
子育て応援特別手当事務取扱・交付金

518万円
地域住宅交付金

266万円
緊急雇用創出事業補助金

204万円
北網広域圏組合出資証券売却収入

5,590万円
財政調整基金繰入金

△2,662万円
公共施設等整備基金繰入金△3,206万円

▼歳出の主なものとして、定額給付金事務費・給付事業

1億3,388万円
地域振興基金積立金

5,838万円
財政調整基金積立金

国民健康保険事業特別
会計繰出金

△642万円

子育て応援特別手当支
給事業

544万円

簡易水道事業特別会計
繰出金

△713万円

直営診療施設助定特別
会計繰出金

609万円

合併処理浄化槽設置整
備事業補助金

△650万円

定額給付金消費拡大事
業補助金

530万円

職員給与費

△1,490万円

質疑

◆定額給付金給付事務・ 事業について

森田議員 町民に対する
定額給付金の給付事務
スケジュール等につい
て伺う。

企画課長 関連法案が国

会で成立したことを受
け、事前段取りを進め、
各対象者へ3月13日に
案内、申請書の送付を
予定している。定額給
付金の受付期間は、3
月19日から9月24日ま
での6カ月間、随時受
付を予定しているが、3



月19日から22日までは、
女満別研修会館、東藻
琴総合支所に臨時窓口
を設け、集中的に受付
対応を予定している。
森田議員 金融機関に対
する口座振替手数料に
ついて、どのような整理
となっているのか伺う。
企画課長 指定金融機関
の公金の取扱いについ
ては、契約上、口座振替
手数料は無料となつて
いるが、今回の定額給
付金の給付は、短期間
に集中してお金が動く
というようなことから、
国の方も予算化を検討
しているとの情報を受
け、近隣市町と均衡を
図る中で約200万円の
事務経費を計上した
のでご理解願いたい。

◆定額給付金消費拡大事 業補助金について

森田議員 町民への定額
給付金の支給に合わせ
て予定している消費拡
大事業の予定している
内容等について伺う。

商工観光課長 定額給付

金の地元消費を促し、
購買力の流出防止と消
費拡大による地域活性
化を図ることを目的と
した抽選券付き商品券
を発行する女満別・東
藻琴両商工会の共同事
業に対する支援を予定
している。



**◆合併処理浄化槽設置整
備事業補助金について**
森田議員 当初計画して
いた件数に対し、減少

した件数及び想定され
る理由等について伺う。

建設課長 当初計画とし
て15基を予定していた
が、10基の実績となつ
たこと。1基当たり1
00〜150万円程度
の費用のうち補助7割
あるが、30〜50万円程
度自己負担となること
が減少した理由等とし
て想定している。今後
対象者への普及PRに
努めたいと考えている
のでご理解願いたい。

◆住替え促進事業について

榎原議員 住替え促進事
業の対象者が誰もいな
かったということだが、
想定される理由等につ
いて伺う。

企画課長 登録件数が非
常に少なく、PRも足
りなかったのではない
かと考えている。今後、
情報提供やPRに努め
たいと考えているので
ご理解願いたい。

**◆子育て応援特別手当支
給事業について**
榎原議員 町民への特別
手当の支給事務スケジ
ュール等について伺う。

福祉課長 小学校就学前

の3年間、第2子以降
の子供のいる世帯に、一
人当たり3万6千円を
支給するもので、定額
給付金と同じ方法で手
続き等を予定している。

◆燃料費関連補正について
榎原議員 各施設全体的
に燃料費が削減されて
いる中、ひがしもこと
乳酪館、朝日ヶ丘公園
が増額となっている要
因について伺う。

財政課長

両施設は年間
を通じて燃料を消費し
ており、特に最盛期に
は193円/ℓで購入
していることながら
増額補正となっている
のでご理解願いたい。

**【平成20年度一般会計補
正予算(第12号)】**
歳入歳出予算にそれぞ
れ420万円追加し、総
額が8億315万円とな
りました。

▼歳入の主なものとして
財政調整基金繰入金
420万円

▼歳出の主なものとして
公共施設吹付アスベス
ト等使用状況調査業務
委託料 240万円
除排雪車借上料

150万円
**【平成20年度国民健康保
険事業助定特別会計補正
予算(第3号)】**

歳入歳出予算にそれぞ
れ45万円を追加し、総額
が12億3,677万円と
なりました。

◆歳入の主なものとして

一般会計繰入金
△642万円
国民健康保険基金繰入
金 △1,430万円

▼歳入の主なものとして
一般被保険者高額療養
費 250万円
葬祭費 △156万円

**【平成20年度国民健康保
険直営診療施設助定特別
会計補正予算(第4号)】**
歳入歳出予算をそれぞ
れ244万円減額し、総
額が1億6,828万円
となりました。

▼歳入の主なものとして
現年度分診療収入(社
会保険・老人保険・後期
高齢者) △408万円
一般会計繰入金

609万円
▼歳出の主なものとして
医薬品衛生材料費
△89万円

質疑

◆診療収入関連について
小島議員 診療収入が約585万円減額となった主な理由等についてどのように分析しているのか伺う。

国保診療所事務長 患者数が昨年同時期と比較して、累計で700人程度減少している。20年度に診療報酬の改定があり、処方薬が従来より長い期間出せるようになり、結果として外来加算や再診療等の減が診療収入に影響が出たものと考えている。

小島議員 診療収入が減額となった要因の一つに、今回の医療事故が影響していることはないのか。

八重樫副町長 影響があるのかどうかの掌握はしていないが、大きく影響しているものとは考えていない。

【平成20年度国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第5号)】
 歳入歳出予算をそれぞれ181万円を追加し、

総額が1億7,009万円となりました。

▼歳入の主なものとして
 一般会計繰入金30万円
 損害賠償保険金 151万円

▼歳出の主なものとして
 診療施設一般管理事業 181万円

【平成20年度老人保健特別会計補正予算(第2号)】
 歳入歳出予算をそれぞれ298万円減額し、総額が1億6,931万円となりました。

▼歳入の主なものとして
 現年度医療費交付金・負担金 Δ58万円
 過年度医療費交付金・負担金 297万円
 一般会計繰入金75万円

▼歳出の主なものとして
 過年度負担金等返還金 298万円

【平成20年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)】
 歳入歳出予算をそれぞれ1,511万円減額し、総額が8,371万円となりました。

▼歳入の主なものとして
 後期高齢者医療保険料 現年度分 134万円

後期高齢者医療特別徴収保険料 Δ1,859万円

高齢者医療制度円滑運営事業費補助金 218万円

▼歳出の主なものとして
 後期高齢者医療システム改修委託料 218万円

後期高齢者医療広域連合納付金 Δ1,725万円

【平成20年度介護保険事業勘定特別会計補正予算(第4号)】
 歳入歳出予算をそれぞれ3,157万円減額し、総額が5億5,061万円となりました。

▼歳入の主なものとして
 現年度分の介護給付費負担金・交付金など Δ2,450万円
 現年度分調整交付金 Δ270万円

介護従事者処遇改善臨時特別交付金 400万円

▼歳出の主なものとして
 介護保険制度改正システム改修事業 317万円
 居宅介護・施設介護・

介護予防サービス給付費 Δ3,706万円

介護従事者処遇改善臨時特別基金積立金 400万円

【平成20年度介護サービス事業勘定特別会計補正予算(第2号)】
 歳入歳出予算をそれぞれ47万円を追加し、総額が1,602万円となりました。

【平成20年度簡易水道事業勘定特別会計補正予算(第3号)】
 歳入歳出予算をそれぞれ2,166万円減額し、総額が6億5,619万円となりました。

▼歳入の主なものとして
 簡易水道施設整備費補助金 200万円
 一般会計繰入金 Δ713万円

女満別本町地区・高台地区簡易水道事業債 Δ1,590万円

▼歳出の主なものとして
 簡易水道施設管理費 Δ641万円

女満別本町地区・高台地区簡易水道整備事業 Δ1,439万円

【平成20年度下水道事業特

別会計補正予算(第3号)】
 歳入歳出予算をそれぞれ106万円減額し、総額が3億6,571万円となりました。

▼歳入の主なものとして
 特定環境保全公共下水道事業補助金 300万円

下水道事業債 Δ340万円

▼歳出の主なものとして
 汚水管渠布設事業 Δ88万円

【平成20年度個別排水処理事業特別会計補正予算(第1号)】
 歳入歳出予算をそれぞれ6万円減額し、総額が2,625万円となりました。

議員定数等調査特別委員会報告

定例会最終日の3月18日、厚海委員長から特別委員会の調査報告書の提出があり、全会一致で承認されました。
 なお、調査報告の概要は、30ページに掲載しています。

平成21年度予算案件

予 算 件 名	審査の結果
大空町一般会計	原案可決
大空町国民健康保険事業勘定特別会計	原案可決
大空町国民健康保険直営診療施設勘定特別会計	原案可決
大空町老人保健特別会計	原案可決
大空町後期高齢者医療特別会計	原案可決
大空町介護保険事業勘定特別会計	原案可決
大空町介護サービス事業勘定特別会計	原案可決
大空町簡易水道事業特別会計	原案可決
大空町下水道事業特別会計	原案可決
大空町個別排水処理事業特別会計	原案可決

● 予算審査特別委員会 (予算審議) ●

● 予算審査特別委員会 (委員長: 厚海副議長他委員 16名) に付託された『平成 21年度一般会計及び 9 特別会計』の予算審査の概要等は次のとおりです。
※ 質疑の詳細は、議会ホームページまたは両地区図書館に備え付けの「会議録」をご覧ください。

- ◆ **生活環境関係**
- ◆ **ごみ処理事業**
1 億 1, 623 万円
廃棄物焼却処理施設及び最終処分場関連
- ◆ **リサイクル推進事業**
2, 792 万円
リサイクルセンターでの再資源化処理関連
- ◆ **合併処理浄化槽設置整備事業** 1, 083 万円
合併処理浄化槽の設置費用の一部助成
- ◆ **女満別本町・高台地区水道管路整備事業**
1 億 5, 776 万円
水道未普及地域の解消と老朽管の更新など



- ◆ **汚水管渠布設事業**
4, 876 万円
新規公共枮の設置と老朽管の更新など
- ◆ **道路整備事業**
4, 651 万円
① 3丁目線改良舗装 160 ㎡
② 2丁目線両歩道整備 440 ㎡
③ 開陽中央線ほか概略設計

- ◆ **産業振興関係**
- ◆ **あさひ団地建設事業**
4, 390 万円
あさひ団地 (1 棟 3 戸) 新築工事関連
- ◆ **藻琴山温泉芝桜公園整備事業** 9, 351 万円
藻琴山温泉芝桜公園内の施設整備関連

- ◆ **女満別本郷地区地域水田農業再編緊急整備事業** 5, 425 万円
本郷地区の農業基盤整備関連
- ◆ **東藻琴山麓地区担い手草地整備事業** 2, 750 万円
東藻琴山麓地区の草地整備関連
- ◆ **東藻琴西部地区担い手畑整備事業** 8, 600 万円
東藻琴西部地区の農業基盤整備関連
- ◆ **農地・水・環境保全向上対策事業** 884 万円
農業の基盤となる農地・水・環境の保全と質



- ◆ **公有林管理育成事業** 2, 054 万円
公有林の整備促進に係る造林、間伐、野ねずみ
- ◆ **21世紀北の森づくり推進事業** 1, 822 万円
森林整備促進に係る造林等経費の一部補助など

大空町として 4 年目の予算編成となる平成 21 年度は、大空町行政改革大綱・推進計画などの取組みによって、前年度からの財政改善の効果が目に見えますが、世界同時不況の影響を受けた国内経済の低迷に伴う税収等の財源不足、国の経済財政改革の基本方針 2008 や地方財政計画などの改革の推進により、本町歳入の約 54% (37 億 6 千万円) を占める地方交付税や各種補助金・交付金等に大きな影響を与え、引き続き厳しい財政状況が見込まれています。

平成 20 年度からスタートし、2 年目となる大空町総合計画は、女満別・東藻琴両地域の交流と融合、地域課題等に対応するため、合併の優遇制度を活かした各種施策・事業が位置づけられており、住民サービスの向上に資する総合計画を着実に推進しつつ、行政の健全経営に向けた一層の取組みが求められています。
※ 主な事業 (抜粋) を紹介します。平成 21 年度予算の詳細等は、広報まちのお知らせ 4 月号に同封された冊子「こころの町の予算」をご覧ください。

財政健全化への道程に取組みつつ、生活・景気・雇用対策などの喫緊の課題へ対応!

予算総額約 99 億 7 千万円 (対前年度比 △ 3.8%) を探る

駆除等関連

◆中山間地域等直接支払事業 1,941万円

◆農業関係資金対策事業 1,407万円

◆企業誘致対策事業 1,472万円

◆中小企業振興資金利子補給事業 629万円

◆商工会助成事業 2,421万円

◆町民ビッグデイ・ふるさとまつり・芝桜まつり開催事業670万円
イベントを通じた交流による町民の親睦と融和を図る

保健・医療・福祉関係

◆社会福祉協議会助成事業 2,568万円
社会福祉協議会の管理運営経費の助成

◆障がい者福祉施設整備事業 256万円
旧東藻琴国保診療所施設を障がい者福祉施設へ改修整備のための耐震診断調査

◆介護保険利用者負担減免措置事業856万円
介護保険サービスの利用者負担額の一部減免
◆障がい者自立支援事業

1億1,568万円

障がい者の介護・訓練等のサービス利用に対する支援など

◆重度心身障がい者医療費助成事業 2,753万円

重度心身障がい者の方への医療費自己負担分の一部助成

◆乳幼児医療費助成事業 1,864万円

就学前乳幼児への医療費自己負担分の一部助成

◆児童手当扶助事業 5,802万円

◆健康増進事業 1,356万円

健康相談、健康教室、各種がん検診、家庭訪問指導など

◆母子保健事業 1,209万円

妊婦・乳幼児健診、乳幼児相談など



◆女満別中央病院施設運営費補助事業 5,000万円

基幹病院である女満別中央病院の施設運営経費の一部補助

教育関係

◆学校教育用コンピュータ更新事業 2,374万円

女満別・豊住・東藻琴各小学校の教育用コンピュータの更新

◆女満別小学校改築事業 1億9,028万円

女満別小学校の改築整備関連

◆小・中学校教育振興事業 1,808万円

新学習指導要領に基づいた個性を伸ばす教育活動の実践など

◆スクールバス運行事業 7,166万円

遠距離通学の児童・生徒の登下校並びに、女満別・東藻琴両地区を結ぶ連絡バスとして運行

◆語学指導助手招致事業 506万円

外国語指導助手の配置・派遣など

◆東藻琴・女満別両高等学校教育振興事業 714万円

東藻琴高校の教育振興会及び女満別高校の振興協議会への助成



(女満別小学校新校舎完成予想図)

◆高校通学対策助成事業 336万円

町外高校への通学交通費・下宿費の一部助成など

◆子育て支援ネットワーク充実事業385万円

子育てやいじめ問題等に関する相談員の配置・充実

◆スポーツ活動振興事業 435万円

充実



平成21年度 各会計予算額及び委員会の採決状況

会計名	予算額	前年度予算額	前年度対比	採決状況
一般会計	69億4,214万円	72億984万円	▲3.71%	賛成全員
国民健康保険事業	12億5,651万円	11億4,077万円	10.15%	賛成全員
国民健康保険直営診療施設	1億7,026万円	1億6,682万円	2.06%	賛成全員
老人保健特別会計	502万円	1億2,195万円	▲95.88%	賛成全員
後期高齢者医療特別会計	8,878万円	9,617万円	▲7.68%	賛成全員
介護保険事業特別会計	5億4,845万円	5億5,923万円	▲1.93%	賛成全員
介護サービス事業特別会計	806万円	1,546万円	▲47.87%	賛成全員
簡易水道事業特別会計	4億8,369万円	6億6,380万円	▲27.13%	賛成全員
下水道事業特別会計	4億4,272万円	3億6,604万円	20.95%	賛成全員
個別排水処理事業特別会計	2,691万円	2,631万円	2.28%	賛成全員
合計	99億7,254万円	103億6,639万円	▲3.80%	

姉妹都市等教育交流事業
410万円



一般会計

歳入

【町営住宅使用料滞納繰越】
坂本委員 町営住宅使用

料滞納繰越分として208万円を見込んでいますが、一生懸命支払っている方もいるので、公平性の観点からも少しでも納付につながるよう取組んでほしい。

建設課長 年々滞納額が増加しており、過年度滞納額約1,400万円の15%程度、208万円の歳入を見込んでいます。庁内でチームを作って徴収対応をしており、今後も鋭意努力

のうえ取組みたい。
濱名副町長 町の貴重な財源であるので、収納体制の見直しを含めて努力することとしたい。

【古梅ダム維持管理事業分担金】
森田委員 古梅ダム分担

金として、受益農家の方々から107.5当たり500円の負担をいただき、930万円の歳入が見込まれている。農業情勢は諸外国の影響等を受け、各農家の方々も経費削減に努力しながら営農されており、この分担金の減額を含めた今後の考え方について伺う。

農政課長 職員人件費、施設的设计や維持管理など、本町と美幌町とにおいて分担金以上に応分の負担をしている現状にあり、各農家の方々も大変厳しい状況等であることは理解しているが、現水準を維持させていたいただきたいと考えているのでご理解願いたい。

【藻琴山温泉管理公社出資証券売却収入】
近藤委員 緑肥対策、土

森田委員 公社出資金の売却収入として1億3,000万円が計上されているが、東藻琴地区の皆さんは、芝桜公園が地域の活力の一つになっているものと考えており、公園に関わってきた公社が縮小または解消することへの不安が出てくるのではないかと。同公社の今後のように進める考えなのか伺う。

八重樫副町長 芝桜は町民の貴重な財産であり、きちんとした維持管理ができ、地域活性化につながるような対応のできる民間へ、同公社の定款を変更のうえ町が出資し、平成22年度から経営主体を委託する方向で検討を進めている。具体化した段階で改めて協議したいのでご理解願いたい。

【土づくり対策事業】
近藤委員 緑肥対策、土

のほか、新たに病害虫対策として洗車場が計画されているが、設置箇所などについて伺う。
農政課長 病害虫の発生を踏まえ新たに措置した。女満別地区は、営農集団12地区のうち7地区設置済みであり、残り5地区を対象とし、東藻琴地区は、13地区のうち2地区設置済みであり、残り11地区を対象に設置に向けた対策を予定していきたいと考えている。

壊診断などの継続事業

一般会計

歳出

植田委員 火葬場修理代として148万円が計上されているが、総合

【葬祭場修繕料】
植田委員 火葬場修理代

計画は平成27年度に増設が検討されている。町民の方々から、告別式を9時に設定されること頻繁になり、ご遺族やお手伝いの方々も大変だという話を伺うことがある。このことについてどのように考えるのか伺う。

近藤委員 長期的な視点で、抵抗性のある品種の採用や輪作体系の見直しなどについて、政策的に取組んでいく必要があるのではないかと。農政課長 輪作体系の確立に向け、機械設備への投資に対する一部助成を図りながら、新しい作物づくりに取組んでいたが、病害虫対策を講じていきたいと考えている。

近藤委員 緑肥対策、土壊診断などの継続事業



(葬祭場)

住民課長 炉が1基しかないことから、お寺さん、葬儀屋さんの方で時間帯を調整いただいているような現状である。高齢化の進展を踏まえ、平成27年度の整備で良いのかどうかを含め今後の検討を進めたいと考えているのでご理解願いたい。

町長 総合計画の中で優先順位をつけながら

【総合型地域スポーツクラブ支援事業】
森田委員 モデル的な取り組みというところだが、今後どのような形で全町へ発展させていく考えかあるのか伺う。

教育長 総合型スポーツクラブは、野球、卓球、バトミントン、バレーなど、子供からお年寄りまで多様な組合せ・時間帯で楽しむことのできるスポーツ活動のことで、モデル的に今回、住吉・豊里地区の皆さんのご協力等をいただくことになっている。今回の結果を踏まえ、健康維持増進の観点からも全町的に広まるよう取組んでいきたいと考えている。

町長 総合計画の中で優先順位をつけながら

【老人福祉大会】
松岡委員 老人福祉大会の内容等について伺う。
福祉課長 社会福祉協議会が行っている「ふれあい広場」と連動し、8

ら取組んでいるが、毎年見直し作業を行っており、ご指摘の点も十分参考にしながら今後取り進めていきたい。

【総合型地域スポーツクラブ支援事業】
森田委員 モデル的な取り組みというところだが、今後どのような形で全町へ発展させていく考えかあるのか伺う。

教育長 総合型スポーツクラブは、野球、卓球、バトミントン、バレーなど、子供からお年寄りまで多様な組合せ・時間帯で楽しむことのできるスポーツ活動のことで、モデル的に今回、住吉・豊里地区の皆さんのご協力等をいただくことになっている。今回の結果を踏まえ、健康維持増進の観点からも全町的に広まるよう取組んでいきたいと考えている。

【老人福祉大会】
松岡委員 老人福祉大会の内容等について伺う。
福祉課長 社会福祉協議会が行っている「ふれあい広場」と連動し、8

月末頃の開催に向けた協議を進めている。また、手持ちに赤飯を用意し、ふれあい広場の売店の利用券なども検討したいと考えている。

【職員研修事業】

坂本委員 職員研修事業の効果について伺う。

総務課長 職員研修については、基礎研修、応用研修、派遣研修及び内部研修等を実施しているところである。研修に参加した者については、具体的にどのような事にどのようになかすのかということ復命を提出させている。今後も研修メニューに工夫を凝らしながら取り進めたいと考えている。

坂本委員 民間職場へ職員を派遣し、民間企業の感覚を学ぶような取り組みをされている自治体もあるのでは、今後、このような事例も取り入れてみてはどうか。

総務課長 新規採用職員を中心に、芝桜まつり期間中のチケット窓口での接遇・接客研修を

実施しているところである。今後、先進自治体の取り組み等も参考にしながら、民間企業への研修を検討していきたいと考えている。

【ふるさと会事業】

坂本委員 ふるさと会を通じて今までの企業誘致の成果と、町の予算でふるさと会が開催されることの考え方について伺う。

企画課長 会員の方を通じて直接的に誘致に結び付いた事例はないが、個別の案件の相談をさせていただいた事例はある。予算については、職員のふるさと会への参加旅費や諸経費に関するものが中心であり、会の後方支援の観点からご理解願いたい。

【芸術文化振興費】

坂本委員 芸術祭や文化祭関連予算については、共催という形で経費節減等の努力をしながら、両地区別々に開催されているが、予算削減の中でこれらは配慮されているのかどうか伺う。

社会教育課長 芸術文化

振興費の総体は約94万円の減額であるが、芸術文化鑑賞事業予算については30万円の増額、文化祭、文化団体予算にあつては、例年どおりの措置となつている。

【敬老褒賞事業】

勝田委員 75歳、77歳、88歳、99歳の各到達者への報償費については、基準日が9月1日と条例で規定されているが、本人の誕生日が来たら支出できるよう条例を改正し、報償費を差し上げて良いのではな

いかと考えるがどうか。福祉課長 基準日については内部でも検討した経過があるが、ご指摘を踏まえ、今後の検討課題としたい。

【学校教育施設建設基金積立金】

勝田委員 基金積立金として1,266万円が計上されている。町有林を伐採し、売却益を基金に積む計画ということだが、経済不況の中で木材価格も下がっており、情勢等を見ながら処分を検討すべき

ではないのかと考えるがどうか。

財政課長 両地区の町有林3・36%の皆伐の収益等を積立て予定としているが、基金目標額を確保するために伐採をするのではなく、売却益が下がれば積立額も下げる考え方で取組む予定である。

【誘致企業振興補助金】

小島委員 ゴルフ場支援の960万円の根拠等について伺う。

企画課長 町外者が全体の86・5%、約15,546人で、町外から多数の方々が利用されていることから、利用促進に係る①ゴルフコース開放事業、②期間限定イベント、③はま

なす会員ポイントフリーの3事業に対し、計960万円の支援を予定しているところであるのでご理解願いたい。

小島委員 誘致企業に対する支援の範囲は、ゴルフ場利用税の範囲が妥当ではないかと考えているが、他の補助金と比較しても大幅に上回り、過去においても固定資産税相当分の減免を行い、延長し、さらに3年間の支援を提案するという経過にあるが、町民はどう見るであろうか。町長の考え方について伺う。

町長 企業誘致を支援し、推進してきた行政としては、今回の補助によって、企業が目的を達成でき、利用者の方々や町民、町もプラス効果がなければならぬと考えている。

当該企業は、全国的にホテル、スポーツ・娯楽施設等を経営されており、色々な形で大空町のPRをいただける旨のご提案をいただいた。これらのことやご

指摘の点に十分配慮しつつ、現状の経済情勢が非常に切迫しているという状況等も鑑み、様々な判断から予算措置を講じたところであるのでご理解願いたい。

【女満別中央病院施設運営費補助金】

小島委員 女満別中央病院に対する無償貸付を含めた財産関係の整理に向けた考え方について伺う。

福祉課長 女満別中央病院へ無償貸与している施設等について、関係者の方々に対し、買取りに向けた努力をしてほしい旨の要請を行つてきている経過にあり、引き続き努力したいと考えているのでご理解願いたい。



(女満別ゴルフコースクラブハウス)



(女満別中央病院)

小島委員 地域に必要なものは、相応の負担と支援はすべきものと考えているが、医師住宅や旧看護婦宿舍跡地の駐車場用地等については、購入してもらってはどうかということを経緯はきちんと整理しながら進めていってほしい。

町長 関係者へご提案をさせていただくなどの努力はしているが、まだまだ不十分であるというご指摘であるので、さらに努力したいと考えている。

【高校通学対策補助金】
豊島委員 合併以前の東藻琴村では学区関係なく助成をしてきたが、合併調整の中で、網走東学区へ就学する生徒への通学費及び下宿費の一部助成とした理由等について伺う。
教育長 東藻琴地区の生徒に対し、網走東学区以外を認めることになると、女満別地区の多くの生徒に対しても同様の措置を講じなければならず、公平性を欠いてしまうことから、網走東学区へ通学または下宿する者について、地域を限定して補助することと設定したのでご理解願いたい。



(女満別高等学校)

【臨時事務補助職員】
豊島委員 女小中学校の臨時事務補助職員の配置状況等について伺う。
教育長 女満別小学校、女満別中学校に1名ずつ時間勤務で配置している。
豊島委員 東藻琴地区の小中学校にも女満別地区と同様に配置をしてほしい。
教育長 各校の校長など十分話し合いをしながら対応を検討することとした。

【移住・定住対策、住替え促進事業】
榎原委員 移住・定住対策や住替え促進事業に500万円程度計上されているが、見直し等について伺う。
企画課長 平成20年度は、お試し移住で5件、延べ12名の方々に1週間から数カ月の滞在期間で参加をいただいた。平成21年度については、7件、11名の予約状況であり、1件2名は近々に移住される予定となっている。
【福祉タクシース券交付事業】
榎原委員 福祉タクシース券は、何歳以上の方に、一人幾ら交付しているのか伺う。
福祉課長 女満別地区に居住の重度身体障がい者、75歳以上の高齢者の方々に対象に、基本料金相当分のタクシース券を18枚限度に交付している。対象者は、町民税非課税世帯または均等割課税世帯の352名と想定している。
【網走湖環境改善対策】
榎原委員 網走湖は、毎

年の浚渫工事で随分改善されてきたが、平成21年度の事業内容等について伺う。
建設課長 網走開発建設部が事業主体となっており、平成21年度の詳細等を把握していないので後日改めて返答することとした。

【学校給食内容】
榎原委員 子供たちの栄養を考えながら毎日の献立づくりをされていると思うが、どのようなメニューが出されているのか伺う。
学校管理課長 週に1回は麺類やパン、週に3回はご飯を提供することとしている。ほかに焼き魚や野菜、サラダ、汁物など、様々なメニューを献立している。

【福祉有償運送サービス】
松田委員 家族にできるだけ迷惑を掛けないよう何とか自分で自動車を運転されている高齢者の方を見掛けるが、年齢的に免許証を返納された場合、いかに高齢者の方々の足を確保するかが課題であり、福祉有償運送サービスをフル活用する必要はあるのではないかと考えるが、平成20年度の実績等について伺う。
福祉課長 福祉有償運送サービスは現在、町内で4団体が実施されている。それぞれの団体の実績については、社会福祉協議会は、登録者589名、延べ利用者268名。女満別福祉会は、登録者605名、延べ利用者246名。東藻琴福祉会は、登録者110名、延べ利用者13名。夢の樹オホーツクは、両地区で登録者102名、延べ利用者87名の状況となっている。

【福祉有償運送サービス】
松田委員 一層の利用を促すよう関係者への周知を徹底してほしい。
福祉課長 引き続き、情報提供に努めたい。
【滞納対策】
齋藤委員 今回、全世帯

に定額給付金が支給されることとなったが、公平性の観点から、滞納者に対し、何らかの協力を要請しているのか伺う。
財政課長 新聞報道等を見ると、全国的には滞納差押えを検討されている自治体もあるようだが、本町ではそのような予定はない。滞納者の方々に対しては、公平性の観点からも引き続き納付いただくよう要請していきたい。

【ふるさと納税】
齋藤委員 全国では、積極的に取組んでいる自治体も見受けられるが、本町の取組み状況等について伺う。
財政課長 札幌、東京都地区にふるさと会の会員の方々に対するPRパンフレット配布や、町のホームページを通じてPRに努めている状況である。

【ふるさと納税】
齋藤委員 募集に際し、何の目的に使用するか寄附の活用内容等を示してPRするとより効果が上がるのではな

総括

いかと考えるがどうか。
財政課長 寄附活用の内容について、森林資源の維持保全及び整備事業、高齢者が生き生きと暮らす事業、未来を担う子供たちを育む事業などの6項目の中から選択いただき、ご本人の意向を尊重できるような形で募集を行っている。

【公共施設等の自動販売機の設置】

松岡委員 女満別地区において昨年、指定管理施設内に設置している自動販売機の件でトラブルがあったと聞いているが、その後の経過と対応等について伺う。

財政課長 公共施設における自動販売は、施設を利用される方々の利便性を考慮し、行政財産の使用許可を得た上で設置されている。今回のトラブルは、指定管理者と自動販売機の設置者が異なっている中で、ごみ処理や釣りの銭切れの問題、故障時の対応等について苦情等が寄せられている状

況である。これらのことを踏まえ、今後の自動販売機の設置に際し、許可条件等の一部見直しを検討していきたいと考えているところである。

松岡委員 単年度契約の設置でありながら、同一業者が随意契約に近い形で設置されている事例があるようなので、今後は公平に対応してほしい。

財政課長 今後については、商工会などで希望者を募集の上、決定していただくような方法で許可していきたいと考えているのでご理解願いたい。

【女満別小学校改築事業】

松岡委員 女満別小学校の改築事業については、10月頃の発注予定と聞いているが、地域経済の活性化、波及効果を踏まえ、少しでも早期に発注できるような方向で検討してほしい。

濱名副町長 建物等の設計、関係機関等との協議・申請が整い次第、できるだけ早期発注に

努めたいと考えているのでご理解願いたい。

【財政運営関連】

坂本委員 平成21年度において、一般会計で約8億円の起債を使う予定となっているが、交付税等の措置の推移もなかなか見通せない状況等を考慮に入れた財政運営に努めてほしい。

町長 20年度末現在の基金残高が23億5,000万円、債務負担行為及び町債の残高については、17年度末の合併前の両町村と現在の状況では、約48億円減少してきている中、投資的経費も毎年11億円ほど確保させていた

だいている。財政的には決して楽になつたという認識はないが、総合計画や財政改革の見直しを行いながら、将来に向かつて着実に進めたいと考えているのでご理解願いたい。

【アピールのきんぎょ算】

深川委員 不況で厳しい状況である中であつても、地域活動や子供たちに対する予算づけへ

の配慮と、内外に元気さのアピールできる予算であつてほしいと考えるがどうか。

町長 経済状況がこういう時代であるからこそ、イベントや観光事業などに地域の皆さんが一堂に会し、元気を出しながら明日に向かって活力ある地域づくりを進めることが大変重要であると考えている。特に、子供たちの元気を次世代につながる部分でもあるので、今後とも十分配慮して取組んでいきたいと考えている。

では、町の将来も先細りになる。必要な時に必要なところに機を逸せずつぎ込むべきだと考えているが、町民の方々の関心は、町の借金が今後どのようになっていくのだろうかということなのだと思う。分かりやすく興味を持って見てもらえるような財政状況等の周知に努めてほしい。

町長 昨年10月、北海道新聞に実質公債費比率管内一番という数字が報道され、町民の皆さんも大変驚かれたのではないかと思います。私をはじめ職員一人一人が、計画的な財政運営を行っていることを丁寧に説明していかねければならないと考えており、出前講座や地域担当などの機会を通じて周知の努力をしていきたい。

【町内の各組織の改廃】

厚海委員 大変忙しい中、人によっては色々な会合に参加をいただいている。町内の各組織の改廃や合理化について

どのようになっているのか伺う。

町長 自主的な活動をされている団体等については、各団体の意向等を十分尊重し、行政として何らかのアドバイスが必要な場合には、助言させていただくような対応等を考えている。

【女満別小学校の改築と教育】

厚海委員 過日、女満別小学校の新校舎の設計図を拝見したが、本当に立派で、子供たちのやる気の出るような素晴らしい新校舎が完成されることを期待している。これを機に、学校そのものが地域に密着した教育に真剣に取り組んでほしいと願っているのがどのように考えているのか伺う。

町長 地域の象徴的な建物として、中心的な役割を担っているよう、建物のみならず人づくりの点にも十分取組んでいきたいと考えているので今後ともご指導願いたい。



【財政状況等の町民周知】
厚海委員 金が無いから何もできないというの

● 町政を問う (一般質問9名) ●

●平成21年3月の第1回町議会定例会では、9名の議員から17項目の質問がありました。各議員の質問と理事者の答弁要旨をお知らせします。※紙面の都合上、質疑は要約していますので、詳細等は両地区図書館に備え付けの「会議録」をご覧ください。

公約の達成状況について

近藤 哲雄 議員



町長の公約は、どの程度達成できたか

議員 大空町がスタートして3年を経過しようとしている。町長は、対話と協働の社会を開く。子供たちや若い世代の夢を紡ぐ。働く人たちの元気を支える。人と環境の安心をつくるという4つの柱を基本政策の公約とし、初代町長として町政運営を担っているが、現時点において、公約はどの程度成し遂げられてきているのか達成状況を伺う。また、残された任期の中で、課題への取組みや平成21年度予算にどのような反映していくのか伺う。

社会資本の整備などを進めることができた

町長 政治的な信条として、愛情を持ったまちづくりを行い、基本的な考え方としては、個性と融合を大切にしたい。自立を目指し、近隣市町村との広域行政なども検討していきたい。夢、元氣安心といったキーワードを用いながら、当時4項目の政策の柱と24の具体的な内容等について示させていただいた。この3年間、診療所の建設、特別養護老人ホームの増床の支援、公営住宅の建設、芝桜公園の整備、麦類乾燥調製貯蔵施設の建設支援、公共施設間の光ファイバーの敷設、水道施設の整備、学校コンピュータの更新など、社会資本の整備についてある程度進められたと思ってい

る。一方、総合計画、財政計画、行政改革推進計画、行政評価、人事評価、各種計画なども策定した。人件費の抑制、事業経費の見直しを進め、借金の残高である債務負担行為の額も一定程度縮減することができたと思う。また、地域担当職員制度、保育・教育環境の充実、移住定住対策、地域間交通の整備、地域産品の多様な売り込みなど新しい仕組みづくりは、頭出しはできた部分はあるとはいえ、まだ不十分という思いが強い。芝桜公園の整備など、個性にまた磨きをかけるということではないかと考えている。

議員 平成21年度は、しっかりと軌道に乗せていくことが目標であり、未着手のものについては、頭出しをして、ルールを敷設

していかなければならぬと考えているので、最大限の努力をしたいと考えている。

職員の能力向上により、課題を解決せよ

議員 執行方針の中に職員の能力向上を図ることが謳われている。住民のニーズに対応して対策を図っていくのは、地方自治体になるだろうと思う。地域にあった課題に対して、対応がとれるアンテナを地域内に張って、職員の能力を発揮する機会が多くあるということが、公約をより膨らませたものにしたり、プラスアルファを導き出して

くことにつながっていくと感じているので、組織を預かっていくリーダーとしての所信を伺う。

職員がアンテナを広げ、企画できる職場づくりに努力する

町長 職員の企画力、発進力、情報をキャッチする能力というものが必ずや必要かと思う。人事評価の試行も行っており、自己評価も職員自ら行っているが、企画力が少ないという評価が多くなっている。職員がアンテナを広げて、色々な情報をキャッチして、そこから企画をしていけるような職場づくりに努力をしていきたいと思っている。

教育行政について (全国体力調査より)

地域に合った体力向上対策は、どのように取り組むのか

議員 1月に文部科学省から公表された、小学5年生、中学2年生を対象とした初の全国体力調査において、北海道はと

もに下位に留まる結果となった。今回の結果を通して感じられること、この地域に合った体力向上対策は、今後どのように取り組んでいくのか伺う。また、予算の関係で体育用具として不足するもの

があったり、運動環境に
影響が出ている部分はない
のか伺う。

食育、基礎体力、運動 時間の確保に取り組み

教育長 北海道で実施
した全国体力・運動能力
調査の結果は、学力検査
の結果とほぼ似ており、
全国的には、小学校も中
学校も40位以下に位置し
ていることが分かった。
体力の低下要因としては、
1週間ほとんど運動をし
ていない中学生が、女子
で3割、男子で1割いる
という実態であった。学
習指導要領で総合的な学
習の時間が創設されたと
きに、体育の時間が年間
15時間減少したことも原
因の一つである。昭和の
時代は、女満別小学校で
は林の中を走ることが継
続的に行われていたが、
体育の時間の減少によっ
て時間に余裕がなく、で
きなくなっていることも
低下の原因にあると考え
ている。平成21年度から
大空町教育推進計画をス
タートさせるが、目標の
中では、学校における体

力づくりや体育の学習の
充実ということ掲げて
おり、総合的に検討しな
がら、食育、基礎体力、
運動時間の確保等に取組
んでいきたいと考えてい
る。また、用具が不足し
ていないかどうかについ
ては、学校教育では児
童・生徒数が減少してい
ることもあり、用具は充
足しているという回答を
得ている。社会教育では、
平成21年度にバレーボー
ルのネットを購入する予
定であり、卓球台の新規
購入も検討している。東
藻琴野球場も21年度にお
いて整備計画に入りたい
と考えている。

スケートリンクづくり のグループなど、地域 力のアップに期待する

議員 今回の調査で、
上位県は体育専門教員数
が1位であったり、授業
への外部人材活用が1位
であるなど、体力づくり
への熱意が感じられる。
本町においても、スケー
トリンクがなくなったり、
スキーをする機会が減少
してきたが、何の補助も

受けずにスケートリンク
を造って、子供たちに使
用させてくれているボラ
ンティアグループもある。
総合型スポーツクラブの
動きも出てきており、地
域としての力のアップに
結び付けていくことを期
待している。



地域のスポーツ支援団 体に感謝をしている

教育長 民間のスケー
トを愛好する方々によっ
て運動公園にスケートリ
ンクが造られ、子供たち
の利用に供されているこ
とは有り難く感謝をして
いる。総合型地域スポー
ツクラブも、豊住地区で
立ち上げることで準備会
が動いているので、地域
の活動に感謝し、期待を
しているところである。

少子化・児童福祉対策について

齋藤 宏司 議員



次世代育成に対する 現状と支援策は

議員 全国的な不景気
の中、夫婦共に働かなけ
れば生活できる収入が得
られないこともあり、公
的な保育へのニーズがま
すます高まると思う。次
世代育成支援行動計画を
見直し、行動指針を定め
る方針であるが、本町の
現状と課題はどのよう
に捉えているのか。また、
子育て中の家庭の意向を
踏まえた具体的な支援策
について伺う。

東藻琴保育園で満1歳 未満児の保育を実施する

町長 次世代育成支援

行動計画は、地域におけ
る子育て支援、親子の健
康の確保、教育環境、仕
事と家庭の両立について
の目標を定めて策定して
いる。現在、女満別地区
の「めちやいるど館」に
おいて、幼児を対象にし
た子育て支援事業を行っ
ており、クラブ登録の子
供たちを対象に放課後児
童健全化事業等を実施し
ている。東藻琴地区では、
幼児を対象とした「わん
ぱくクラブ」の開設や登
録児童の児童クラブなど
を運営している。東藻琴
保育園では、平成9年か
ら、豊住保育園では平成
12年から年齢を拡大して
2歳まで対象にして預か
っている。平成21年度か
らは、東藻琴保育園にお
いて、満1歳未満児の保
育も実施したいと考えて
いる。このほか母子保健
事業として、母親、乳幼



「めちやいるど館」と 「児童クラブ」の利用率は

議員 女満別地区の児



(児童センター「めちやいるど館」)

童センターである「めちやいるど館」と、東藻琴地区の「児童クラブ」の利用者を伺う。また、広域保育と民間保育に対しては、どのくらいの利用人数があり、助成金額はどのくらいになるのか伺う。

「めちやいるど館」は、年間2万人以上が利用している

町長 平成19年度の女満別地区の「めちやいるど館」の利用者は、2万2,940人、東藻琴生涯学習センターでの「児童クラブ」利用者は、2,563人という状況であ

町長 幼保一元化に向けての取組みであるが、就学前の子供たちの環境等、要望は多種多様にわ

幼保相互の良いところを兼ね備えた体制づくりを進めたい

議員 幼稚園児と保育園児が同様の条件で小学校に入学できるような、幼保一元化に向けた課題と本町の取組みについて伺う。

幼保一元化に向けた課題と本町の取組は

幼稚園・学校教育の 振興について

福祉課長 保育所広域入所事業は、委託契約によって他の市町村の認可保育所に入所する場合に

る。また、放課後子ども教室は「めちやいるど館」で週3回実施しており、年間約6,000人、東藻琴小学校での子供教室は、週1回で1,700人程度の利用状況になっている。

助成しているが、平成20年度は、2歳児からゼロ歳児までの5人を予定しており、401万円の予算を見込んでいます。託児通所助成事業は、町内の3歳未満児の託児所に通所する利用料の一部を助成しており、平成20年度は8人で、103万円の予算を見込んでいます。

たっている。幼稚園であっても預かり保育を実施したり、保育園であっても教育的要素を取り入れることで、相互の良いところを兼ね備えながら、一体的に対応していきたいというのが考え方であります。幼保一元化は、現実的にはある程度取組みを行っている。例えば、子供たちの芸術鑑賞は、保育園児も一緒に観劇しており、文化展でも保育園の子供の作品を展示している。ただ、活動が十分に地域に理解されていない

豊住小学校の将来計画は

議員 豊住小学校の将来的な計画について伺う。

「認定こども園」の体制づくりも検討したい

町長 「認定こども園」という考え方も検討し、そういう方向が望ましいということであれば、そのような体制づくりも考えてみたいと思う。メリット、デメリットも含めて検討したいと思う。

「認定こども園」による幼保一元化はできないか

部分もあると思うので、どのような方式が良いのか検討を加え、体制づくりをしつかり進めていきたいと考えています。

議員 今、盛んに「認定こども園」という形で行っている地域もあるが、そういう形での幼保一元化は考えないのか伺う。

学校の適正な規模を検討し、将来像を探っている

議員 豊住小学校の将来的な計画について伺う。

給食費の現状と課題を聞きたい

議員 平成21年度から値上げが検討されている給食費についての現状と課題をどのように把握しているのか伺う。

給食費は値上げするが、特色あるメニューづくりを進める

町長 豊住小学校の将来的な計画であるが、人数が多くないので行き届いた教育環境を提供できるといふプラスの面がある。しかし、団体活動の経験不足や、団体スポーツの経験が少ないというマイナス面もあると受け止めている。町としては、学校の適正な規模について検討することとし、現在まで3回PTA役員や保護者と懇談をして意見交換を行い、その中で豊住小学校の将来像について探っていたら、いるところである。

教育委員長 給食費は、原材料の値上げ、小麦価格の高騰といったことから、平成20年度に学校給

食運営委員会に諮り、21年度から小学生で1食当たり33円増しの243円、中学校で36円増しの276円に値上げさせていただくことになる。今回、女満別地区は10年ぶり、東藻琴地区では、合併に伴った金額調整以来3年ぶりの値上げである。今後、特色ある給食メニューづくりを進め、子供たちに喜んでもらえるように取組んでいきたい。また、地産地消という観点から、予算の範囲内において、地域でとれた野菜などを積極的に給食に取り入れたいと思う。



大空町の産業振興と観光について

植田 泰弘 議員



道の駅の利用状況は

議員 今回は道の駅に
関した質問を行う。知床
世界遺産の人氣に陰りが
見られ、昨年春れからの
不況の中、道の駅の利用
状況は前年と比べてどの



ような変化が出ているの
か伺う。

年間36万人の道の駅 利用者がいる

町長 「道の駅メルヘ
ンの丘めまんべつ」の年
間利用者は36万人と把握
しており、最終的には前
年並みを確保している状
況にある。道の駅では、
露店、休憩施設、ドッグ
ラン施設の設定、冬場の
ネオンサイン装飾、チャ
レンジショップの取組な
どが成果の数字になって
いると思う。平成21年度
は、水飲み場の整備など
をすることにしている。

3カ国語の案内看板 を設置して、おもて なしを

議員 女満別空港から
道の駅までの間、よろこ
そ大空町という看板は1
つもなく、道の駅にもそ

ういう看板はない。道の
駅で我が町をPRする必
要があるのでないかと考
える。海外からも観光客
が来訪されるので、日本
語以外に3カ国語ぐらい
で表示した看板を立て
おもてなしの表現をして
も良いのではないかと思
うが、考え方を伺う。

国際化時代に備え、 外国語表記の看板も 検討する

町長 平成20年度予算
で、両地域を行き来した
り、観光地を示す案内看
板を作成したが、国際化
時代でもあることから、
様々な表記なども検討し
ながら行っていくことは
必要だと思うので、今後十
分検討したいと思う。

道の駅に農作物を植え て、見たり触れたりでき るようにしてはどうか

議員 東藻琴には、藻
琴山という大きな目印が
ある。藻琴山をPRして
そこに向かえば東藻琴へ
行くというように発想を
転換して考えれば、道路
に看板を立てるより、分
からない人でも行きやす
いのではないかと考える。

また、本州や海外から来
訪される観光客は、農村
地帯を走って来るが、両
側には色々な農作物が植
えてある。花の代わり
にこれらの農作物を道の駅
に植えて、側で見たり手
で触ったり、秋には収穫
物を見ることが出来るよ
うにすればおもしろいの
ではないか。

興味を持ってもらえ るよう、体験農園でつ くれないか検討する

町長 提言のあった北
海道の大地を藻琴山に向
かって走れば、大空町の
1,000メートルのこ
ころまで行けるというキ
ャッチコピーというもの
も必要でないかと感じた
ので、参考にさせていた
だきたい。また、畑作物
も色々な畑に植えてある。

いも、ビート、春まき小
麦、秋まき小麦、ビール
大麦などもあることから
道の駅の体験農園などで
つくることは可能でない
かと思っている。興
味を持ってもらえるよう
なことも含めて検討した
いと思う。

イベントの開催で 地域の活性化を

議員 平成20年度は、
しらうお祭りと輝農館ま
つりが道の駅で開催され
た。地元の人たちが道の
駅の集客力を利用し始め
たのではないかと思う。道
の駅が町民にも意識され
出したと考えている。例
えば、町内のお菓子屋さ
んが道の駅に集まってイ
ベントを行い、成功した
ら町外の店にも輪を広げ
て「大空スイートフェス
ティバル」に発展させれ
ば、道の駅発信で大きな
地域の活性化が生まれて
来るのではないかと思うが
どうか。

道の駅の集客力と、 地元の思いを結びつ けるように努力する

町長 イベントなどで
使う多目的屋内広場は、
例えば、朝市や農業用機
械展示会での使用も可能
でないかと考えていた。
雨が降った場合について
も、外の雰囲気を感じ出
せるような場であること
から、色々な形で使って
もらえると思う。道の駅
という看板が持つ集客力
と地元の人たちの思いを
結び付けていけるように
努力したいと思う。

農家に関心を持てるよ うな場所にしてほしい

議員 メルヘン公園の
ハウス施設は、農業者の
ために建てた施設である
ので、農業者に関心のあ
るような事業をやっても
らいたい。例えば、新し
い農業、除草剤、殺虫剤
などが出たら農業試験を
農協、普及所などと連携
をとりながらやってみて
もいのではないか。各農
家にアピールしないと効
果が出ないと思うので、
農家の人たちが関心を持
てるような場所にしてほ
らいたい。

**見学会のような形で
農業者に周知し、PR
に努めたい**

町長 地域に行く、新しい品種が出た場合、それをメルヘン公園のハウス施設でつくってもらえないか。その実績をもちょうと考えてみたいと言われる方々もいる。ハウスの取組みについて、例えば、見学会のような形で農業者に周知をして、PRに努めていきたい。

**チャレンジショップ
の実績を問う**

議員 平成17年にスタートしたチャレンジショップは、今年で4年目を迎えることになるが、3店舗の実績、実態はどのようなになっているのか。今後まだまだチャレンジショップという形でやってもらうのか伺う。

**新たな事業展開により、
成果を上げている**

町長 チャレンジショップは、道の駅の飲食店機能を目的に平成17年に開業した。開業した3店

舗のうち、既に2店舗は新たな事業展開を図っており、一定の成果は得られたと考えている。課題としては、簡易ハウスということことで店舗面積も小さく、拡充したいという要望もある。期間営業の店舗もあることから、道の駅を含む施設全体に与える影響も懸念される部分もある。メルヘン公園全体を含めて、新しいコンセプトのもとで当該施設をどのように位置付けていくか、総体的な観点から見直しを図って、平成21年度に検討を進めていきたいと考えている。

**農業施設と観光施設
を生かし、道の駅の
活性化を**

議員 道の駅は、農業施設と観光を考えた施設という特殊な施設と考えているが、大変可能性のある道の駅でないかと思うので、発想の転換なり知恵を絞って、シーニックバイウエーの出発点である「道の駅メルヘンの丘めまんべつ」を活性化してもらえればありがたい。

いと考えている。

**次の段階にステップ
アップできるように
努力する**

町長 道の駅は、本町の陸路の玄関でもあり、東オホーツク圏への玄関口でもあろうかと思う。実際に稼働してから10年を迎えようとしているので、次の段階にステップアップできるような道の駅で、町民のよりどころとなるようなメルヘン公園になるよう努力をしていきたい。



(道の駅のチャレンジショップ)

町政執行方針について

坂本 一 光 議員



**財政健全化に向けて
の取組について**

議員 本町は、公債費比率が管内でトップの位置にある。総予算の中で24%が借金の支払いに充

てられるという事態について、住民としても気になると思う。本町の予算総額は、標準財政規模から見ても3割程度上回っている現状である。歳入の2倍近い借金残高についての今後の見通し、財政健全化に向けた取組みについての考え方を伺う。

**財政推計を十分に
計画的な財政運営を**

町長 歳入は、地方交付税や国、道交付金が全体の6割、歳出は、借金の返済、人件費等の義務的経費が約4割であり、財政の硬直化が数年来続き課題になっている。平成19

**住民ができることを検討
して適正な職員管理を**

議員 長野県の人口4、200人のある村は、21



徳田程度の総予算で、公債費比率が5・9%、基金が28億円あるとのことである。その村の方法としては、あらゆるところに住民参加をお願いし、職員数が35名ということである。本町も住民の立場でできること、職員でなければできないことを再検討する方法をとることが、行政の内容を住民に周知することにもつながるのでないかと思うが考え方を伺う。

長野県の村の実態も調査して検討する

町長 職員の定員管理計画は、民間で公共のサービスを提供する方式もあるのではないかとこのことを考え合わせて、出き上がっている。長野県の村の実態も調査して、どのような形がいいのかということについて検討させていただきたい。

小学校の建設は、町内業者で施工できないか

議員 平成21年度着工予定の女満別小学校の建設について、従来の大型

公共事業は、施工主体が町内業者で賄われていなかった。発注者が国や北海道であれば仕方ないが、小学校は町が発注するものである。住民の多くは、町内業者で施工できないかと考えるところであるがどうなのか伺う。

学校教育について

幼稚園、保育園児の肥満化の実態は

議員 児童生徒の体力向上対策の中で、今年度から栄養教諭を中核とした食育推進事業の取組みに関して伺う。また、幼稚園、保育園の子供たちも肥満化傾向にあると指摘されているが、本町における実態について伺う。

保育園児の一部に肥満傾向が見られる

教育長 食育推進事業は、食に対する適切な判断力の涵養、伝統的な食文化の理解、食を通じた生命、自然を尊重する態度の涵養が特に挙げられ

他市町村の発注方式なども調査して決定する

町長 今回の小学校の建設については、現在予算を提案している段階であるので、何も決まったものがない。過去の例などから見て、この規模の事業費は通常の指名競

ており、給食センター栄養士と各学校養護教諭との連携により、年間を通して栄養指導の授業を実施しているところである。また、幼稚園、保育園における肥満化傾向であるが、小中学校でも10%ぐらいの子供たちに肥満の傾向が見られるという指摘がある。肥満は、生活習慣病の原因となることから、幼児期から食の指導を重要視していくことが必要であると認識している。大空町では、保育園の一部に肥満の傾向が見られるが、幼稚園では大多数が標準であるとの調査結果が出ている。

争入札ということではなく、簡易公募型の指名競争入札方式を採用している実例などもある。他の市町村の発注方式なども調査して、それらを参考にしながら、今後決定していくことになるであろうと考えている。



ラジオ体操を授業のカリキュラムに

議員 今は、ラジオ体操をする姿が少なくなっているように思う。学校の授業の中でも、積極的にカリキュラムの中に取り入れてやってほしい。

授業に取り入れているので、身につけている

教育長 ラジオ体操は、夏休みに子ども会を中心に取組んでいるが、かつてのようにすべての子供会が取組んでいる状況ではない。学校の授業の中

介護制度について

介護従事者報酬の増額は、介護保険料の引上げに繋がらないか

議員 介護保険制度は、本年4月より介護従事者に対する報酬が増額されることになっている。介護の需要から見ると、十分な増額にはなっていないと思うが、大空町における介護保険料の引上げにつながるのではないかと危惧するがどうなのか伺う。

現行保険料を据え置くことが可能と判断している

町長 高齢化社会において、安心して介護サービスを提供させるための職場環境を改善してサービスの質を維持していくことなどを目指して、4月から介護報酬が3%引き上げられることになる。各サービス給付費も上が

はない。学校の授業の中では、ラジオ体操は必ず取り入れてやっているのので、子供たちは身に付けていると思う。

り、保険料も必然的に引き上がるということが出てくるが、現況の介護保険事業の給付費の見込みがそれほど高くなっていないことや、介護保険基金が適正な規模ということも考えると、現行の標準3,100円の保険料を据え置くことが可能であると判断している。



(女満別福祉会居宅介護支援事業所)

職員定員管理及び

組織機構の確立について

松田 信行 議員



職員定員適正化の進捗状況は

議員 行政改革推進計画の中でも、定員適正化計画に基づき、職員の適正な定員管理を行うとされているが、定員適正化の進捗状況を伺う。

町長 職員定員適正化計画であるが、合併時の平成18年時点の職員は178人、平成23年度には155人に削減していくという目標を立て、平成27年度までに132人と、平成20年4月では163

人、平成21年4月には157人の予定である。簡素で効率的な行政運営と住民サービスの低下を招かないという両方の視点を持ちながら、職員の定員管理を進めたいと思っている。

職員の残業実態について

議員 職員は減らせばいいというものではないと思っている。合併してから職員を削減することにより、事務に影響がないか心配であるが、職員の残業時間はどのようになっているか伺う。

時間外勤務は年々減少している

町長 職員1人当たりの年間平均時間外勤務は、平成18年度が79時間、平成19年度が51時間、平成20年度が47時間であり、

年々減少しており、平成20年度に入って、平常ペーシングに落ち着いたのではないかと受け止めている。単純に職員数は減らせばいいというものではなく、民間委託の発想も入れるとともに、事務事業の必要性などを見直して軽減していく必要もある。職員定数の管理は、人事配置の中で組織機能を十分発揮させていかなければならないと考えている。

教育行政体制の現状と対応は

議員 現在、教育行政体制については、東藻琴地区に教育委員会、女満別地区に教育センターという体制で行われているが、教育行政における効率的な事務事業の遂行、地域実態の把握、調整機能強化についての現状と対応について伺う。

3課体制により運営を強化している

教育長 平成18年の合併時に、教育委員会は両地区に事務機能を持ちながら、生涯学習課1課体制でスタートしたが、事務関係の不祥事もあったことから、今年4月から

学校教育課、社会教育課、女満別教育センターの3課体制で事務処理を強化して運営している。教育委員会としての行政運営に当たっては、3課が情報を共有し合いながら、共同して運営を進めている。また、全町的な行事については、課をまたいで全体的に事務所全部を挙げて取組んでいる状況である。

教育長も何回か女満別勤務はできないか

議員 女満別地区においては、平成21年度からの女満別小学校の新築、就学前の子供の体制整備、豊住小学校の今後のあり方など課題が山積みしている。果たしてこの体制で十分対応できるのか疑

問である。関係課と連携する必要もあるが、離れていることよって問題になる部分はないのか伺う。また、町長は東藻琴総合支所に月に何度か出向いているが、教育長も月に何回か女満別教育センターに出向くという考えはないのか伺う。

週に1度、女満別で勤務するよう検討したい

教育長 指摘のあった課題については、事前の情報収集から準備態勢まで進めてきており、小学校の改築事業については、

今後の事業展開、進捗によって、組織体制を考慮していきたい。そのほか地域実態に結びついた課題も散在しているため、適切に展開できるように組織体制の見直し、業務の割り振り、人の配置について、新年度に向けて考えていきたい。また、在所を明らかにすることによって、情報交流を定期的に行う機会を設定できると思っているので、週に1度くらいは、女満別教育センターで勤務するように検討したいと思う。

議会中継のお知らせ



「東藻琴総合支所ロビー」及び「老人福祉センターフロックスロビー」のテレビを通じて、議会本会議の様子をご覧になることができますので、議会中継を是非ご覧ください。

藻琴山温泉芝桜公園について

芝桜公園基本構想の進捗状況と今後の取組は

議員 平成19年に藻琴山温泉公園基本構想が打ち出され、風景を最大限に演出し、最小限の施設で運営するという整備方針が出されたが、基本構想の進捗状況と効果及び温泉活用による地域資源を活かす今後の取組みについて伺う。

雄大な景観を楽しめる公園づくりを進める

町長 芝桜公園の整備については、風景を楽しめ、高齢者や障害者へ配慮した公園づくりに主眼を置き、整備を進めている。平成20年度は、急斜面の法面改修及び施設解体跡地を整地してシバザクラを植栽している。また、遊覧車運行園路の舗装化、売店の新設、平成21年度予算では、温泉の権利の取得、温泉施設の調査などを盛り込んでいる。効果であるが、全体を一望できる雄大な景観

持つて帰ってもらおうという手法もあると思うが、考え方について伺う。

就農体験や産品開発の可能性も探る

議員 藻琴山の熱源を利用して、施設が年間を通して活用できるということであれば、新規就農者の就農体験や新しい産品開発にもつながる可能性があり、障がいのある方の働く場所としても活用することができると。温泉施設としての活用、農業用ハウス栽培の熱源という形でのご考え方もあると思うので、今後、議会や地域審議会の場で議論できるようにしたいと思います。

温泉資源を生かしたハウス栽培の取組を

議員 藻琴山温泉芝桜公園は、大空町の大きな財産だと思っている。温泉を使ったハウスづくり、ハウスの栽培の展開を図るべきでないか。地域の元気なお年寄り、栽培技術を持った農家や東藻琴高校の生徒の知恵を借りたり、障がいのある方を雇用しながら、観光客に感動だけでなく、物を



広報広聴事業について

森田暢明 議員



町民主体のまちづくり推進と情報提供のあり方は

議員 町政執行方針の中では、町民主体のまちづくりを推進するため、広報、町のホームページ、生活カレンダーなどを柱として、町の情報を提供するとともに、ふれあいトーク（町政懇談会）、

町長へのメール、ふれあい意見箱などにより、多くの町民との対話を重視し、開かれた行政を推進するとしている。また、地域担当職員の配置に加え、町民の求めに応じ、「まちづくり出前講座」を実施するといったことであり、協働のまちづくり

を推進するため、情報提供に努力されているが、そのあり方について伺う。

町政への参画と情報共有が必要である

町長 町民主体のまちづくりという中には、町民の町政への参画意識が必要と思っており、情報の共有が必要であると考えている。町の政策、企画立案、実施や評価の各段階において、町民が主体的に参加することが最終目標であり、理想であると思っている。現在、行政側が情報の発信、公開を行ったり、逆に町民の意見を受け止めて責任説明を果たすとともに、町民の要望、提案に対して速やかに対応するようにしているが、行政が発信する情報や説明したい内容と、町民が受け取りたい情報にギャップが生じ

て、情報発信が十分に伝わっていないと反省している。

行政の積極的な情報提供を

議員 町民参画による協働のまちづくりは、情報の共有が大前提にあると思われる。各種委員会、審議会、町民を交えた会議等があると思うが、話し合われたこと、今後取り進めていこうという事



柄について、行政として住民が情報を選択できるということも考え合わせ、住民に情報として伝えるべきでないかと思う方が考え方を伺う。

ルールをつくって、 公開に取り組む

町長 町が主催する審議会等の会議結果の報告は、一部ホームページで

公開しているものもあるが、すべてを公開している状況にはない。委員会、審議会の内容については、要点のみとなると思うが、町民の興味を引いてもらえるのであれば、1つの情報の提供の仕方だと思うので、ルールをつくりながら公開に取り組んでみたいと思う。

生ごみ処理事業について

生ごみ処理助成事業の成果は

議員 旧女満別町、合併後の大空町において、生ごみ処理助成事業が行われていたが、その追跡調査並びに成果はどのように検証しているのか伺う。

生ごみ処理機の導入により、燃やすごみが減少した

町長 生ごみ処理機助成事業は、旧女満別町は平成4年度から平成17年度まで、旧東藻琴村では平成13年度から平成15年度まで実施し、その後大

空町になった平成18年度と平成19年度に助成を行っている。今までに電気式で212件、コンポストで1,317件、事業所の生ごみ処理機が6件の全部で1,535件の金額で1,539万5千円程度助成している。燃やすごみの収集量は、平成15年度で1,006トンであったものが平成19年度は808トンにまで減少している。リサイクルの分別の徹底が進んできたこと、生ごみ処理機の導入も要因であると受け止めている。



生ごみ分別試行の取組は

議員 昨年末からの町政懇談会での周知、説明を行ってきた生ごみの分別試行の実施について、現状の処理状況とあわせて取組みの考え方に伺う。

5リットルのごみ袋をつくって対応したい

町長 分別の本格的な実施は、本年6月から予定している。高い分別水準が確立できたらならば、本格的に堆肥化に向けた分別という形で開始する予定としている。現在生ごみは燃やすごみとして出されているが、水分

なども多く含んでいる。800度以上の温度で焼却しなければ、ダイオキシンの発生などにもつながる可能性もあることから、灯油バーナーによる補助燃焼も行っている。灯油代が100万円を超える月もあるので、燃料費の抑制、施設の維持管理経費の削減、処理施設の延命、地球規模の二酸化炭素の削減を目指しながら堆肥化をしていきたいと考えている。現在、10リットル、15リットル、30リットル、45リットルの袋で燃やすごみなども排出してもらっているが、もう少し小さいものが必要もあったことから、平成21年度から5リットルのごみ袋もつくりたいと考えている。分別の精度が高まったならば、袋を通常のプラスチック製でなく、生分解のものに変更して、本格的な堆肥化に取り組んでいくことができればいいと考えている。

住民の思いを拾い上げ、情報の提供を

議員 家庭から出るごみの処理については、各

自治体が管理責任を持っているということもある。住民の思いをできるだけ拾い上げながら行動をしていくことが大事だと思う。認識が町民と行政の中で乖離している部分があると感じているので、住民に情報を十分伝えながら、行政と行動をとりにしていきけるようなものを構築して進めてほしい。

広く意見を聞いて、ごみ分別処理の試行を行う

町長 懇談会等を通じて説明しているが、その中で、住民は経費のことだけでなく環境問題から考えて、生ごみ処理は燃やすという事でない対応について、理解されているという印象を受けた。また、生ごみを出さない、減らすという住民運動なども必要でないかと考えており、宴席での食べ残しの持ち帰り運動など必要でないかと思っている。今後色々な形で意見をいただきながら、生ごみ分別処理の取組みを試行したいと思っている。

大空町議会ホームページ

- 大空町ホームページの中に「議会ホームページ」を開設しています。議会の動向や議事の日程のほか、議決結果や会議録なども随時更新のうえ掲載していますので、是非ご覧ください。
- <http://www.town.ozora.hokkaido.jp/>からアクセス



町政執行方針について

深川 昇 議員



農業・農村整備事業 予算は心配ないか

議員 農業・農村整備事業については、両町村の合併後にJAの合併もあり、農業を取り巻く情勢も大変厳しくなっている。本町の基幹産業である農業、酪農業の今後の予算や事業に心配されることはないのかごつかを伺う。

経済対策によって、 一定程度の予算確保 は可能と見る

町長 農業の基本である基盤整備事業については、今後とも農業・農村整備事業を計画的に取組

んでいきたいと考えている。予算の関係は、平成20年度は北海道の予算などが不足気味ということから、要望がありながら取組めなかった事業もあるというのが実態である。平成21年度に向けて、国の経済対策や北海道でも力を入れている部分もある。一定程度予算の確保はできるのでないかと考えている。

農協の合併による やりずらさはないか

議員 民間のJAではあるが、農協合併によるやりづらさを心配する農家の方もいるので、町として心配はないのか伺う。

JAと十分協議して 事業を進める

町長 JAの合併は、2市町にまたがることから不安もあるかと思うが、

農家の要望を聞きながら事業の取りまとめを行っている。今後もJAと十分協議をしながら、JAが2つに分かれているからということと、とりこぼしがないように努力をしていきたいと思っている。

森林整備事業の 推進について

議員 森林整備であるが、21世紀北の森づくり推進事業については、国の情勢が厳しくなってきた中、今後心配される面はないのか伺う。

町の単独事業も活用 して、適正な森林整備に努める

町長 林業家の負担軽減を図るため、北海道単独の事業である21世紀北の森づくり推進事業を積極的に取組むようにしているところであるが、十

分な予算が確保されていない状況にある。町単独事業である森林整備推進対策事業も使って、適正な除間伐、保育、水資源の確保といった目的のために取組みたいと考えている。町有林の伐採跡地の植林も、企業、観光客と連携した取組ができないか検討していく必要もあると思つし、ふるさと応援寄附金も活用しながら、今後も森林整備に意を払っていききたいと考えている。

女満別地区簡易水道 の水源は確保できる のか

議員 簡易水道事業について伺う。水は命の源であり、安全で安心な水の供給が必要である。町内には4カ所の簡易水道があるが、特に女満別地区の簡易水道の水源については、地下水に頼っているのが現状である。現在、日本全体で地下水や温泉の水位の下降があり、雨、雪、その他の自然現象による科学物質の地下水浸透による水質の変化も

心配されるが、対策について考えているのか伺う。

きめ細かな維持管理 と改良事業により対応する

町長 女満別地区の簡易水道は、取水量及び地下水の状況から判断すると、今すぐ枯渇するとは考えられないが、きめ細かな日常の維持管理により、長期にわたり機能を失うことのないように対応しなければならぬと思つている。また、建設改良事業を早期に完了できるように努めていきたいと思つている。

経済不況に伴う 商工振興対策は

議員 商工関係であるが、日本経済の収縮、不況は、1企業や個人の努力だけでは対応できないことになっている。行政としての振興策や対応策について伺う。

くじ付き商品券を 発行し、地域の経済活 動に結びつける

町長 町の対策としては、中小企業振興資金の融資、利子補給などの手続も迅速に行つようにならしていきたい。国の2次補正である地域活性化・生活対策事業を早期に発注して、地域の企業の経営安定、雇用の確保につなげるように努力したい。定額給付金も、商工会とタイアップしながら、地域の中でいかに経済活動に結びつけるかということ、くじ付き商品券の発行も行っているところである。



工口を取り入れた女満別小学校の建設を

議員 環境対策については、大空町地球温暖化対策実行計画に基づき進められていると思うが、国は景気対策の一環として、太陽光発電も盛り込んでいます。現在、女満別小学校の新築が進められているが、環境に配慮した太陽光発電など、工口の部分は取り入れられないか。他の学校よりも一歩先を行く学校の建設にはならないのかどうか伺う。

環境に配慮した学校建設に努める

教育長 学校施設を整備していくに当たっても、環境に配慮した整備が重要であること十分認識している。地球温暖化対策としての重要性に配慮した施設整備、環境教育の活性化を図る点での重要性、学校施設を地域に開放した際に、利用する人が環境問題や環境対策に理解を深めることができるような効果性の観点から、学校施設等の環境対策にか



太陽光発電の活用はできないか

議員 景気対策の国策

かわって整備していく上で大きな柱になると考えている。また、文部科学省は、エコスクール認定に際して8つの事業タイプを定めているが、この中で、女満別小学校改築においては、多目的ホールのシーリングファン設置、高効率照明器具設置、校庭の芝生化、多様な木材の活用、自然採光に配慮した仕組みなどを考えて、現在、改築事業を進めていこうと考えているところである。

国の指針も見ながら検討したい

教育長 限られた施設面積、経費の中で、なかなか踏み込めないということがあるが、太陽光発電に対する国の指針等も今後、町村に対して出てくると予想されるので、取り入れていくことができるかどうかを一定期間の中で考えさせていきたいと思う。

地元企業の振興対策について

元木良一 議員



地元企業倒産の現状と及ぼす影響は

議員 公共事業の縮減や経済、金融情勢の悪化は、大空町内の中小企業、零細企業にも様々な影響を及ぼしている。先日、誠に残念なことであるが、東藻琴地区の大きな企業が自己破産申請をし、事実上倒産になったことが報道された。このような不況型の倒産が進めば、取引のあった会社などにも影響を及ぼすことも想定されるが、町内における現状と及ぼす影響をどのように考えているか伺う。

関係課に指示をして、情報収集に努めている

町長 町内企業の破産手続きが開始されたという情報を聞き、すぐに関係課を集めて、町との支払関係、業務委託契約、民間との受注状況、従業員の状況等について情報収集するように指示したところである。現在、把握しているところでは、本町居住の従業員は5名、関連するグループ企業もあるが、破産管財人の扱いによって、かわりが出ないかを危惧しているところである。

緊急的つなぎ融資、利子補給枠の拡大はできないか

議員 倒産した企業の解雇などにより、失業した従業員は、雇用保険などの公的支給が終了する

公的資金の融資について、関係機関が連携して対処する

町長 町はもちろん、商工会、金融機関、破産管財人と連携して、従業員の生活相談を行い、就業等に関する相談の場は、緊急雇用対策等の事業の活用も含めて検討し

たいと考えている。また、当該企業と取引があり、多少なりとも影響があると思われる地元企業は7社と把握しているが、中小企業振興資金の運転資金の貸出し、国レベルの公的資金の融資支援について、関係機関で連携して対処していきたいと思う。その中で不十分であれば、現況の振興資金の拡大も検討したい。

地元経済振興に向けた懇談会を開催できないか

議員 地元の企業関係者は、それぞれ課題や問題を抱えて日々経営に努力している。様々な業種の方が一堂に会して懇談する場を設置して、地元経済の振興に向けた懇談

会を開催できないか伺う。

異業種懇談の開催を検討する

町長 今後の企業活動や産業活動を考えたとき、同業種の産業分野だけでなく、幅の広い異業種懇談の中で新たな展開を考えていくのも1つの方策なのかと思うので、十分検討したいと思う。

昨年に比べ、除雪稼働時間は増えている

町長 平成20年度の大空町除雪体制は、人員18名、除雪車両19台、除雪延長399km、道路延長の64%を除雪している。市街地の歩道除雪延長は35kmで、道路延長の73%を実施している。昨年12月から2月までは降雪の日が多く、除雪機械の稼働時間は昨年に比べ大きく増加している。

除雪の委託業務内容は

議員 除排雪業務における、平成21年度以降の具体的な業務委託の内容について伺う。

民間の能力、技術を活用して委託を進める

町長 女満別地区において、平成19年度から一部の除雪を委託しており、20年度の除雪延長214kmのうち、121kmを委託している。東藻琴地区の除雪は、町の直営で実施しているが、民間の能力や技術、活力など

を活用して、委託を進めていきたい。平成21年度冬からの東藻琴地区除雪委託は、車両9台のうち5台を委託し、除雪延長184kmのうち91km、歩道除雪延長17kmのうち6kmを委託したいと考えている。

町道、道道、国道の排雪を一体的にできないか

議員 特に排雪作業においては、町道、道道、国道がタイミング的に時間差があるので、一緒の方向性が望ましいと思う。また、通学路は、児童生徒の押しボタン式の信号

などへの障害になり、危険にもつながることが考えられるので、連絡を密にして実施することにも、土木現業所や開発建設部からの委託業務として町において進めることはできないか伺う。

関係機関が協議して改善を図っている

町長 国道、道道、町道の管理が別々という中で、毎年、関係機関が集まって、冬期間の除雪に

当たった問題点や要望を出して協議し、改善を図っているところである。また、通学路の確保ということ、歩道の除雪は北海道から町が委託を受けて実施している。国道の歩道の除雪は、網走開発建設部とも十分協議をしなければならぬと思う。もし迅速な対応に至らないときは、危険な部分は町として取組んでいくことも必要でないかと考えている。

町長 町道の排雪作業においては、町道、道道、国道がタイミング的に時間差があるので、一緒の方向性が望ましいと思う。また、通学路は、児童生徒の押しボタン式の信号などへの障害になり、危険にもつながることが考えられるので、連絡を密にして実施することにも、土木現業所や開発建設部からの委託業務として町において進めることはできないか伺う。

市街地区の間口の置き雪対策は

議員 市街地区の間口の置き雪対策が問題にな

町長 町道、道道、町道の管理が別々という中で、毎年、関係機関が集まって、冬期間の除雪に

っている。地域の潜在力を活かした支援体制も大事でないかと思う。共助公助で住民と行政が関わりを持った役割が必要であると思うが考え方に伺う。

地域の自主的活動もお願いしたい

町長 間口の置き雪解消は、高齢者にとつて大変苦勞が多いことから検討していかねばならぬと考えており、町の機械力できるところと、地域の自主的な活動の中で協力をお願いしたいと思っている。

除排雪業務の委託について

除排雪業務の実績は

議員 昨年から女満別地区では、一部業務委託を実施している。平成21年度は、東藻琴地区にも



業務委託をしていきたいということであるが、平成20年度の除排雪業務の実績について、どのように把握しているか伺う。

お願い

議長及び副議長宛の案内文書については、公務等の日程調整が必要となりますので、必ず議会事務局まで「持参」か「郵送」でお届けをお願いします。

送り先

☎099-2392

大空町女満別西3条4丁目1番1号
大空町議会議長 宛

町政執行方針について

小島 一弘 議員



事務事業評価制度と地域担当職員制度の進め方について

議員 対話と協働は、町長の町政に臨む基本的な姿勢であると理解している。職員の不祥事による住民の行政への信頼回復を得るために、情報共有のあり方、情報公開についてどうあるべきか、町長の姿勢が問われていると思う。町政執行方針に積極的に位置づけられている事務事業評価制度や、地域担当職員制度は、果たして分かりやすいものになっているのかどうか伺う。併せて、この機会に情報共有すべき事項はないかおたずねしたい。

問題点を整理して定着に努める

町長 事務事業評価制度は、事業の事前評価を実施し、総合計画の推進計画、実施計画策定の基礎としたところであり、総合計画や予算編成などに反映させているところである。課題点など整理をして、定着に努めていきたいと思っている。地域担当職員制度は、町の政策、施策を町民にPRなり、説明できることが理想であるが、課題としては、意図している部分と地域の方が受け止める意識にずれがあると思うので、考え方を共通認識を持っていかなければならぬと考えている。情報についてつまびらかにさせていただいているつもりであるが、具体的な部分があればご指摘いただきたい。

文書管理の徹底を

議員 ゲートボールセンターの吹き付けアスベスト調査については、平成7年に改修工事を行ったにもかかわらず後から出てきている。これは、公共施設における履歴管理が文書管理上もできていないということが問題となったのではないかと思うので、文書管理はきちつと整理してもらいたい。

施設の履歴整備を検討する

町長 アスベスト調査については、従来の調査が十分機能していないというところで反省している。アスベストであるとなれば、早急に手打てを打たなければならぬと思っている。また、事務全体をしつかりと見直す契機

にしたいと思う。施設の履歴の関係も、過去に財産台帳で管理をしている部分があったが、情報量が掲載されていないという課題もあるので、検討させていただきたいと思う。

トマップ川公園のトイレ整備を

議員 トマップ川公園のトイレについては、住民が不便を感じているという声があり、バイオトイレの整備について伺う。

バイオトイレの設置に取り組む

町長 トマップ川公園のバイオトイレについては、設置した場合に十分利用され、機能するのかもしれないことを考えると、試行的にまず置くということも必要でないかと考え、平成21年度に取組んでみたいと考えている。



教育委員会行政の進め方について

地域の合意を得て、統合補助金獲得はできなかつたのか

議員 豊住小学校の統合問題は、地域を重視したいという考えは間違っていないが、金のない時代に、女満別小学校建設のため20億円を超える積極投資をするわけである。その際に統合を前提にすれば、統合の補助金が相対もらえると思う。置戸小学校の状況も聞いたが、手厚い補助を受けていると思う。本町も現在の施設計画を統合事業として整備する場合、合意確認書は3年後であっても有効なので、統合補助金が受けられたと思うが、努力をなせしなかつたのか伺う。

小学校建設予定地の国有地問題はクリアできるのか

議員 現在の女満別小学校建設予定地における問題点として、国有地問題をクリアする努力というものを表明してきたと理解するが、現実になつてきたのか、改善の道が生まれてきたのかどうか伺う。

統合は地域の意見を聞いて判断する

町長 豊住小学校の統合は、地域にとって大きな問題である。効率性や

無償譲渡や交換も視野に交渉する

町長 改築場所に伴う国有地については、現在年間約36万円の使用料を払って使用している。こ

れまで何回もこの件について財務局北見出張所長と話をしているところであり、今後とも無償譲渡、交換というような手法での理由付けができないかということも考えながら対応していきたい。

シックススクール問題は大丈夫か

議員 女満別小学校の建設に伴う理念とコンセプトは、生涯学習施設機能を有する小学校建設を進めるという答えをもらった経緯もあるが、執行方針上はそういう意味の語句が消えているがなぜか。また、環境対策については、例えばグラウンドの緑化というのは含まれているのか。さらに、健康に優しいという観点では、シックススクール問題を発生させないような検討をしているのか何う。

空気中の化学物質濃度を十分検査しながら進める

教育長 新しい学校では、屋体のほか図書室、音楽室なども社会教育の

場として、提供が可能になるような施設設計をしているので、生涯学習施設としての機能を有する学校として対応していけるのではないかと。また、グラウンドは、多様なスポーツ、運動等を展開できるようにということと考えているが、グラウンドの芝生化については、今後

も学校と協議を重ねていきたい。さらに、シックススクールの関係では、以前に紋別市の小学校で1年間使用できなかった。使う建材、揮発性の有機化合物の指針値のチェックを厳重にしていかなければならないし、室内の空気中の化学物質濃度についても検査等しながら十分留意をしていきたいと思っている。

戦争遺産である「掩体」の今後の対策は

議員 地域文化の継承と対策についてであるが、戦争遺産である「掩体」について、山下岬における網走湖底の遺跡について、どう対応していくのか何う。

「掩体」は地権者と協議を進めたい

教育長 戦争の遺跡に関しては、これまでも飛行場を有している町の歴史遺産として、平和的な資料として残していく必要があると答弁していたが、十分な取組みに至っていないので、この後、看板を立てる等、地権者によりよい残し方について協議を深めさせていただきたい。また、湖底の遺跡については、トマップ川沖湖底遺跡という名で北海道教育委員会の埋蔵文化財包蔵地カードに登録されており、価値の高いものと思うので、この後詳しく資料等について当たっていききたい。



その他議会活動の状況等

【JA女満別麦類乾燥調製貯蔵施設起工式】
4月6日、農林水産省の「強い農業」づくり事業」の補助を受けてJA女満別（渡邊勝美代表理事組合長）が建設する「麦類乾燥調整貯蔵施設」の起工式が現地に挙行され、議会を代表して後藤議長が参列しました。

【札幌大空町東藻琴会】

4月18日、札幌市及び札幌近郊に在住されている旧東藻琴村ご出身や旧村に縁のある方々による札幌大空町東藻琴会（小島忠和会長）が札幌市内で開催され、本町議会を代表して後藤議長・厚海副議長が参加しました。



【芝桜まつりオープニングセレモニー】

5月3日、26回目を迎えた芝桜まつりの恒例のオープニングセレモニーが藻琴山温泉芝桜公園会場にて行われ、シーズン幕開けと同時に大勢の観光客が来訪されました。



【湖水開き安全祈願祭】

5月1日、恒例の安全祈願祭が女満別湖畔前浜にて行われ、夏の観光シーズンを控え湖の安全を願いました。



【議会行政視察来町対応】

5月11日、釧路管内町村議会議事局職員協議会事務局長部会（佐藤吉彦標茶町議会議事局長ほか5名）が、「議員定数等調査特別委員会取組み等」に関する行政視察のために来町されました。



【第34回全国町村議会正副議長研修会】

5月19日～20日、東京都において第34回全国町村議会正副議長研修会（主催：全国町村議会議長会）が開催され、後藤議長が参加しました。東京大学情報学環教授の姜尚中（カンサンジュン）氏の『日本再生のための政治と自治』と題した講演などが行われ、全国各地から参加した多くの議長等が熱心に耳を傾けました。

臨時会の議案と質疑

第2回臨時会

～地域活性化・生活対策基金条例及び経済対策関連予算を承認～

第2回臨時町議会は、2月20日の1日間の会期で開かれ、以下の町提出案件が決まりました。

条例等案件

【地域活性化・生活対策基金条例の制定】

全国の都道府県や市区町村が、地域活性化や生活対策等に資する事業を積極的に実施し、取り組むことができるよう、国の平成20年度第2次補正予算において「地域活性化・生活対策臨時交付金制度」が新たに創設されたことから、次の財源に充当することを目的とした基金を創設することについて了承しました。

- ① 農業機械の導入等経費
- ② 教育文化会館施設改修経費
- ③ 東藻琴・網走間路線バス運行経費
- ④ 町道維持補修経費

【簡易水道事業給水条例の一部改正】

女満別本町地区と高台地区に分かれていた簡易水道料金表について、平成21年4月から本町地区の用途、超過料金などに統一することに伴う同条例の一部改正を了承しました。

予算案件

【平成20年度一般会計補正予算（第10号）】

歳入歳出予算にそれぞれ3億2,070万円追加し、総額が87億1,558万円となりました。



▼歳入の主なものとして、定額給付金給付事務費補助金 278万円

地域活性化・生活対策臨時交付金

2億6,739万円

女満別地域振興会館整備指定及び一般寄附金

100万円

財政調整基金繰入金

5,031万円

▼歳出の主なものとして、地域活性化・生活対策基金積立金

8,000万円

定額給付金事務費

278万円

地区会館改修工事

2,379万円

公民館整備事業

1,164万円

緊急通報システム設置事業

588万円

町道維持補修事業

1,426万円

12線道路整備事業

1,100万円

中央大東線道路整備事業

1,300万円

サラカオーマキシン川改修事業

5,000万円

小学校・中学校・幼稚園・体育施設整備事業

6,560万円

質疑

◆地域活性化・生活対策関連全般

森田議員 新年度への繰越明許を予定し、条件の良いときに実施を計画されていることと思うが、町内事業者の活性化のための補正予算であるので、繰越しをせず早期に実施できるものはあらかじめ精査

されているのかどうか伺う。

財政課長 国の第2次補正の目的を踏まえ、できるだけ年度内の早期発注を予定することとしたいが、工事の内容等によっては、積雪等の影響により年度内の完成が見込めない工事も想定されることからそれらについて、平成21年度への繰越しを予定したいと考えている。

一口メモ

（繰越明許費とは）

- 繰越明許費（地方自治法第213条）とは、予算が成立して事業を執行する中で、その年度内に事業が終了しない見込みとなった場合、予算を翌年度に繰り越して執行することができるものです。
- 例えば、建設事業等で、その年度内に完成予定として契約締結をしたが、天候不順等の要因で工事が予定どおり進まず3月31日までに完成できない場合などについて、翌年度に支出することになり、この翌年度に繰り越す額を繰越明許費といいます。

小島議員 地域活性化・

生活対策関連全般補正
予算の中に、商工費関
係を除いた理由につい
て伺う。

町長 各市町村など

では、定額給付金に合
わせてプレミアム商品
券を発行し、消費拡大
と地域活性化に結び付
ける策が講じられ、本
町においても同様に検
討を進めたが、国の第
1次補正の段階で、従
来の商品券事業250
万円にさらに500万
円を追加して、計75
0万円の助成金を実施
し、さらに今回の第2
次補正で対応できない
かどうかが問い合わせ
たところ、「第1次補正
にて対象とした事業は
対象外」とされた経過
である。本町では、約
1億3千万円の定額給
付金が支給されること
となっており、いかに
地域の商工業者の中で
使用いただけるかとい
うような町独自の消費
活性化策を考えてあり
然るべき時期に改めて
協議させていただきた

いと考えている。

◆農畜産物販路拡大事業
勝田議員 稲城市のアン

テナシヨップほのかに
設置予定の保冷貯蔵庫
の概要等について伺う。

農政課長 約20フィート

型コンテナといわれる
長さ約6・0メートル、幅約
2・5メートル、高さ約2・
5メートルの容積約28立方メ
ートルのものの設置を
予定しており、じゃが

いもや玉ネギなどの貯
蔵を図って、今後の大
口の取引等への補完的
役割を考えている。

専決処分案件

【交通事故に対する和解
及び損害賠償額の決定】

町有車両に起因して発
生した交通事故に対す
る和解及び損害賠償（14万
円）に関する専決処分を
承認しました。

ぎがい Q&A

大空町議会には 政務調査費はありません！

●政務調査費とは、近年の地方自治の進展により
自己決定・自己責任が拡大する中、議会が住民
の負託に応え、積極的・効果的な議会活動を行
うことが求められてきていることなどを背景に、
平成12年の地方自治法の一部が改正され、都道
府県や市区町村が独自に条例を制定し、『議員
が地方行政等に関する諸制度や政治の動向等
に対する専門的な知識を得るために行う調査研究
に必要な経費の一部として、会派または議員に
交付する経費（地方自治法第100条第13項）』
とされています。

●大空町議会では、この政務調査費に関する条例
は制定しておらず、政務調査費は支給されてい
ませんので、皆様のご理解とご協力をお願いい
たします。



(稲城市アンテナシヨップほのか)

編集後記

『メイストーム』
という言葉をご存

知でしょうか。4月後半から5月に掛けて、
日本海で温帯低気圧が急速に発達して、南よ
りの強風が吹き荒れる気象現象のことをいう
そうです。「メイ（5月）」「ストーム（嵐）」
を組み合わせた和製英語で、作付けしたばか
りの畑にとっては本当に迷惑な風ですが、こ
のメイストームが終わると、夏のシーズン到
来を向かえることとなります。

気象庁の3カ月予報では、昨年の猛暑の原
因だったラニーニャ現象の影響がしばらく残
っているようで、今年も昨年同様に暑い夏に
なりそうな予兆があるとのことでした。

気温を表す単位として、「摂氏」と「華氏」
がありますが、普段私たちが使う摂氏度とは、
スウェーデン人のセルシウス氏が1742年
に考案した温度の単位のこと、水の凍る温
度（氷点）を0度、水が蒸発する温度（沸点）
を100度とし、その間を100等分した温
度で、考案者の頭文字を取って「C」と記す
ようになったということです。また、アメリ
カやイギリスなどで使われている華氏度とは、
ドイツ人のファhrenハイト氏が1724年
に考案した温度の単位で、氷点を32度、沸点
を212度とし、その間を180等分した温
度で、考案者の頭文字を取って「F」と記さ
れます。中国でファレンハイト氏のことを
「華倫海特」音訳したことから「華氏」に、
セルシウス氏のことを「摂爾修」と音訳した
ことから「摂氏」となっているそうです。ファ
レンハイト氏の誕生日である5月14日は、温
度計の日として定められているのだそうです。

議会・委員会活動レポート

●総務・厚生文教・産業建設の各常任委員会、議会運営委員会や議会広報編集の各特別委員会などは閉会中も開催され、所管する事案に関する案件の協議や活動等を行っています。 ※主な内容をお知らせします。

総務常任委員会

〔平成20年度〕

(1)第16回委員会(3/12)

- ・ 公用車・除雪車両による交通事故報告
- ・ 医療事故に伴う損害賠償額
- ・ 財政健全化計画実施後の財政見通し
- ・ 税の不能欠損
- ・ 北網広域圏組合の財産処分の変更
- ・ 定額給付金給付事業実施要綱案
- ・ 誘致企業の近況
- ・ まちづくり出前講座
- ・ シンボルマークキャラクターの名称



(そらっきー)

- ・ 要望意見書
 - ・ 閉会中の所管事務調査
- 〔平成21年度〕
- (2)第1回委員会(4/16)
- ・ 使用料の見直し
 - ・ 事務事業評価
 - ・ 総合計画実施計画のオーリング結果

- ・ 移住・定住の取組み
- ・ 自治基本条例(仮)検討委員会の開催状況
- ・ 定額給付金の受付状況
- ・ 固定資産税
- ・ 女満別駅前水道メーター器ボックส์事故及び除雪車両物損事故の和解の専決処分

(3)第3回委員会(5/22)

- ・ 人事院の臨時勧告
- ・ 町税条例
- ・ 降ヒヨウによる公共施設被害状況
- ・ 過疎地域自立促進市町村計画の一部変更
- ・ 固定資産税の課税免除に関する条例
- ・ 経済危機対策の概要
- ・ 定額給付金の申請状況等
- ・ 公営住宅排水管事故報告

厚生文教常任委員会

〔平成20年度〕

(1)第17回委員会(3/12)

- ・ 医療事故に伴う損害賠償額
- ・ 年金手帳保管について
- ・ 障害者福祉施設整備事業基本構想
- ・ 教育推進計画の策定
- ・ 要望意見書

- ・ 閉会中の所管事務調査
- 〔平成21年度〕
- (2)第1回委員会(4/15)
- ・ 公共施設吹付アスベスト等使用状況調査経過報告

(3)所管事務調査(4/24)

- 厚生文教常任委員会が所管する課等の担当職員から、以下の案件について説明を受け調査しました。
- ・ 東藻琴・女満別図書館図書貸出システム
- ・ 東藻琴・女満別幼稚園及び東藻琴・豊住保育園の状況等
- ・ 重度心身障害者及びひとり親家庭の医療費の助成に関する条例
- ・ 乳幼児等医療費の助成に関する条例
- ・ 国民健康保険税条例
- ・ 老人福祉大会開催要領(案)等
- ・ 年金手帳返還事務
- ・ 女満別給食センター温水ボイラーの修繕
- ・ 東藻琴国民健康保険診療所の運営

(4)第2回委員会(5/22)

- ・ 敬老褒賞支給対象者の国民健康保険税率の

- ・ 見直し
- ・ 新型インフルエンザ対策
- ・ 社会教育関係施設の利用

産業建設常任委員会

〔平成20年度〕

(1)第18回委員会(3/12)

- ・ シストセンチュウ
- ・ 公用車・除雪車両による交通事故報告
- ・ 水道料金等の執行停止、不能欠損の実施
- ・ 要望意見書
- ・ 閉会中の所管事務調査

〔平成21年度〕

(2)第1回委員会(4/17)

- ・ 21年度建設工事等に係る発注見直し
- ・ 公共施設吹付アスベスト等使用状況調査業務委託結果
- ・ 道路占用料徴収条例
- ・ 女満別駅前水道メーター器ボックส์事故及び除雪車両物損事故の和解の専決処分
- ・ ふるさと雇用再生特別対策事業及び緊急雇用創出事業

- ・ 「夢号」
- ・ 定額給付金消費拡大事業
- ・ 藻琴山温泉芝桜公園整備事業

(3)第2回委員会(5/22)

- ・ 下水道使用料の過誤納返還金
- ・ 建設工事発注状況
- ・ 公営住宅排水管事故報告
- ・ 共同利用農業機械導入事業補助金交付要綱
- ・ 緊急雇用対策創出事業交付金関連
- ・ ふるさと雇用再生特別対策推進事業
- ・ 消費者行政活性化事業
- ・ 「夢号」の追悼式
- ・ 町民ビッグデー事業

議員定数等調査特別委員会

(1)第13回委員会(3/5)

- ・ 議員定数
- ・ 議会の議員の定数を定める条例の一部改正(案)



議員定数等調査特別委員会調査報告

1 特別委員会の設置及び組織

- (1) 設置年月日 平成19年12月13日(平成19年12月定例町議会)
- (2) 名 称 大空町議会議員定数等調査特別委員会
- (3) 付託事件 議員定数等議会改革に関する調査
- (4) 委員構成 委員長 厚海 六郎 副委員長 植田 泰弘 ほか委員15名

2 調査の経過

(1)第1回(平成19年12月13日)	・大空町議会議員の報酬及び費用弁償条例の一部改正の可決(期末手当役職加算廃止)	(13)第9回(平成20年12月10日)
(2)第2回(平成19年12月26日)		(14)第10回(平成21年1月20日)
(3)第3回(平成20年1月21日)	(9)東神楽町議会視察研修	(15)第11回(平成21年2月20日)
(4)第4回(平成20年2月15日)	(平成20年6月30日)	(16)第12回(平成21年2月25日)
(5)第5回(平成20年3月11日)	(10)第7回(平成20年9月12日)	(17)第13回(平成21年3月5日)
(6)栗山町議会報告会視察研修	(11)第8回(平成20年11月17日)	・議員定数(一般公開)
(平成20年3月27日)	(12)議員定数等に関する「町内各団体」「町民懇談会」の開催	(18)第14回(平成21年3月12日)
(7)第6回(平成20年4月21日)	・11月26日～2月1日(延べ11会場・176名)	・大空町議会の議員の定数を定める条例の一部改正(案)
・期末手当(役職加算15%)		
(8)平成20年第3回臨時会議会		
(平成20年5月22日)		

3 調査の結果

平成12年の地方分権一括法の施行以来、地方自治体は、従来にも増して地域の実状に即した政策や施策を形成し、自らの責任において実施することが求められており、議会の果たす役割もますます大きくなってきています。大空町においても、町税をはじめとする自主財源の確保・充実と収支の均衡を図りつつ、町民にとって必要な行政サービスの継続的な提供に努められている中、本町を取り巻く状況は、町民要望の多様化・高度化、税・使用料などの収入の減少等により、合併後も依然として厳しさが続く財政状況、少子高齢化の進展、人口減少時代の到来など、大きく変化してきています。

町では、このような状況の変化に的確に対応し、かつ、将来にわたって持続可能な行財政運営を実現するため、行政サービスの民間委託、事務事業の簡素・効率化、町民との協働のまちづくりの推進、職員給与の削減、職員定数の適正化など、様々な行財政改革に取り組んでいるところです。一方、近隣市町の議会においても、厳しい市町財政の状況や民意の動向を反映し、議会の活性化・改革の一環として議員定数を見直す動きが広がり、議員定数も減少してきています。

このような状況下において、本町議会では、地方分権社会にふさわしいチェック機関としての機能を発揮しつつ、町民の信頼と付託に十分応え、的確に反映できる議会づくりに向けて、議員自らその定数等について調査するため、平成19年12月13日、議員定数等調査特別委員会を設置しました。本委員会は、14回にわたる委員会の開催並びに、道内先進地の行政視察などを通じて、鋭意かつ慎重に調査を重ねた結果、本町議会の議員定数等について、次のとおり結論を得ましたので報告するものです。なお、議会改革に関する事項については、議員定数に関連する範囲において調査を行いましたので申し添えます。

記

- (1) 期末手当について
 - ①平成19年度人事院勧告(期末勤勉手当0.05ヵ月引上げ)の凍結 ▲203,495円(▲0.34%)
 - ②平成20年度(6月・12月)支給分からの役職加算(15%)の廃止 ▲2,362,280円(▲3.90%)
 - (2) 議員定数について
 - ①平成21年3月5日開会の第13回委員会において、記名投票による採決の結果、次期改選期(平成22年4月22日任期満了)における本町議会の議員の定数を「12人」とすることに決定 ▲20,768,250円(▲31.95%)
- ※現行18人に対する「義務的経費(議員報酬・期末手当・共済組合負担金・公務災害補償等組合負担金)」との参考比較
- (3) 議会改革について
 - ①議員定数等に関する「町内各団体」並びに「町民懇談会」の開催による議会に対する民意の把握(11会場・176名)
 - ②特別委員会審議の一般公開の取組み
 - ③議会だより及び議会ホームページへの掲載

要 望 意 見 書

①北海道の自衛隊体制維持を求める要望意見書

北海道に配置されている自衛隊は、国土防衛はもとより、災害発生時の救援・救難活動や救急患者の搬送など、道民の安全と安心の確保に向けて大きな役割を果たしてきたところですが、近年、陸上自衛隊の第5師団及び第11師団が旅団化されるなどの削減が行われ、地域の安全と安定、さらには地域経済に大きな影響を与えています。

本道における自衛隊の大幅な削減は、我が国の防

衛上の問題はもとより、災害発生時の救援・救難活動への派遣や地域経済など、さらなる影響を及ぼすことは必至の状況です。

よって、政府においては、防衛計画の大綱の見直し並びに、次期中期防衛力整備計画の策定に際し、地域の意向等を十分配慮され、北海道における自衛隊の体制が確実に堅持されるよう強く要望します。

(提出先) 衆議院議長 河野 洋平 参議院議長 江田 五月 内閣総理大臣 麻生 太郎
防衛大臣 浜田 靖一

②市町村立病院・診療所の経営安定化と療養病床の維持存続を求める要望意見書

1 療養病床を持つ病院や不採算部門を抱える病院、小規模な病院等の経営を安定させるため、次期診療報酬改定で診療報酬を増額すること。

2 公立病院等に対する地方交付税措置額の改善について、平成20年12月26日に増額措置が公表されたが、

一層の普通交付税措置により、不採算地区病院、救急病院、小児・周産期病院の経営安定を図ること。

3 地域の実情に合わせて医療療養病床を維持すると共に、介護療養病床の役割を再評価し、存続を検討すること。

(提出先) 衆議院議長 河野 洋平 参議院議長 江田 五月 内閣総理大臣 麻生 太郎
総務大臣 鳩山 邦夫 厚生労働大臣 舛添 要一 財務大臣・金融担当大臣 与謝野 馨

③中山間地域等直接支払制度の継続に関する要望意見書

中山間地域等直接支払交付金制度は、農業生産条件が不利な地域において、農業生産及び多面的機能の維持を図ることを目的に、平成12年度より実施されています。

北海道においては、本制度の実施により、①耕作放棄地の発生防止、②集落・地域活動の活性化、③国土保全など多面的機能の維持、④生産性・収益向

上など、大きな成果を発揮していますが、本制度が打ち切られる場合、農業生産活動や地域社会の維持に重大な支障をきたすことが懸念されます。

よって、政府においては、平成22年度以降においても現行の中山間地域等直接支払制度が堅持されるよう強く要望します。

(提出先) 内閣総理大臣 麻生 太郎 農林水産大臣 石破 茂

④雇用対策の充実・強化とセーフティネットの拡充を求める要望意見書

1 雇用対策の充実・強化

(1)安心・安全な食料生産と環境保全を展望すると共に、農林漁業や食品関連産業育成に力点を置いた政策の展開を通じて雇用創出を図ること。

(2)間伐などの森林整備への支援、木質バイオマスの活用を促進する技術開発や事業化支援、雪氷、ヒートポンプなどの自然エネルギーを活用した自然循環型農業の推進、太陽光発電など新エネルギーの導入と事業展開により、環境保全と産業振興、雇用の創出を図ること。

(3)離転職者のための職業教育・能力開発の機会を拡充するため、独立行政法人 雇用・能力開発機構の高度ポリテクセンターや高等技術専門学校、認定職

業訓練校、専修学校、各種学校などと連携が図られる仕組みを作ること。

2 セーフティネットの拡充

(1)法に違反する「雇止め」「解雇」「時間外手当不払い」、「有給休暇の取得促進」などに向けた関係法令を改正と監督指導を強化すること。

(2)特定受給資格者の基本手当の所定給付日数を延長すること。

(3)季節労働者の通年雇用化の促進と冬期間の就労・生活支援策の拡充に向けた措置を講ずること。

(4)雇用保険の受給要件を満たさない労働者について、一定水準の生活を保障し、職業訓練を受講できるような生活保障給付制度を創設すること。

(提出先) 衆議院議長 河野 洋平 参議院議長 江田 五月 内閣総理大臣 麻生 太郎
財務大臣 与謝野 馨 厚生労働大臣 舛添 要一 総務大臣 鳩山 邦夫
経済産業大臣 二階 俊博

議会 日 誌

平成21年 3月1日～5月29日

〔平成21年〕

- 3月1日** 東藻琴高等学校第53回卒業証書授与式
女満別高等学校第55回卒業証書授与式
- 5日** 第13回議員定数等調査特別委員会
第19回議会運営委員会
- 6日** ことぶき大学卒業式・修了式
- 11日～18日** 平成21年第1回定例会
- 12日** 第16回総務常任委員会
第17回厚生文教常任委員会
第18回産業建設常任委員会
第14回議員協議会
第14回議員定数等調査特別委員会
- 13日** 女満別中学校第38回卒業証書授与式
東藻琴中学校第62回卒業証書授与式
- 16日～18日** 予算審査特別委員会
- 18日** 第13回議会広報編集特別委員会
- 19日** 女満別小学校第45回卒業証書授与式
東藻琴小学校第62回卒業証書授与式
- 20日** 大空町教育懇話会
- 24日** 豊住小学校第98回卒業証書授与式
女満別建設業協会通常総会
- 4月3日** 北網ブロック町議会事務局長会議(斜里町)
- 6日** 女満別町農業協同組合麦類乾燥調製施設起工式
- 6日** 女満別小学校入学式・豊住小学校入学式
東藻琴中学校入学式・女満別中学校入学式
- 7日** 大空町女満別農民協議会第51回定期総会
- 8日** 女満別高等学校第59回入学式
- 9日** 東藻琴高等学校第57回入学式
女満別町農業協同組合第61回通常総会
- 12日** 女満別商工会女性部通常総会
- 14日** 網走支庁管内町村議会事務局長会議(佐呂間町)
- 15日** 第1回厚生文教常任委員会
- 16日** 第1回総務常任委員会
- 17日** 第1回産業建設常任委員会
ことぶき大学入学式・進級式
- 18日** 札幌大空町東藻琴会(札幌市)
- 21日** 第1回議会運営委員会
- 22日** 東藻琴観光協会第37回通常総会
- 24日** 厚生文教常任委員会第1回所管事務調査

- 28日** 第2回総務常任委員会・第1回議員協議会
女満別商工会青年部通常総会
- 5月1日** 湖水開き安全祈願祭
メーデー大空集会
- 3日** 芝桜まつりオープニングセレモニー
- 10日** 自由民主党第12選挙区支部政経セミナー(北見市)
- 11日** 釧路管内町村議会事務局長会研修来町
- 12日** 網走支庁管内町村議会議長会定期総会(上湧別町)
北網ブロック町議会議長会議(北見市)
- 13日** 東藻琴商工会第49回通常総会
- 14日** 第1回議会広報編集特別委員会
- 19日～20日** 第34回町村議会議長会議・副議長
研修会(東京都)
- 21日** 網走支庁管内総合開発期成会定期総会(北見市)
北海道総合振興局設置条例及び支庁制度改革
等意見交換会(北見市)
- 22日** 第2回産業建設常任委員会
第3回総務常任委員会
第2回厚生文教常任委員会
第2回議員協議会
第2回議会広報編集特別委員会
- 26日** 第2回議会運営委員会
- 28日** 平成21年第3回臨時会(移動議会)
- 29日** 松木けんこう2009国政の集い(網走市)

大空町議会だより「有料広告」を募集!

- 大空町議会では、議会だよりの紙面に掲載する有料広告を募集します。
- 発行は、年4回開会される定例会(3月、6月、9月、12月)の概ね前月の町広報発行日(2月、5月、8月、11月の各末日)の4回で、3,450部発行しています。
- 広告掲載に関する主な基準は次のとおりです。
 - ①掲載する位置は、裏表紙(カラー印刷)の最下段とします。
 - ②広告の規格は、1枠につき、縦10.00cm横8.45cmとします。**※この募集記事の場所と大きさです**
 - ③掲載する枠数は、毎号1枠のみとします。
 - ④広告掲載料は、1回1枠につき、3,000円とします。
 - ⑤広告の掲載期間は、広告主と協議して定めます。
 - ⑥広告については、議会広報としてのイメージを損なうことのないよう、内容やデザイン等について事前に広告主と協議してから掲載することになります。
- お申込み・お問い合わせ
有料広告掲載申請書の提出などが必要となります。その他ご不明な点もあわせてお気軽にお問い合わせください。

【大空町議会事務局】

●電話(0152)-74-2111(内線266)

議会の傍聴はお気軽に!

定例会は、年4回(3月・6月・9月・12月)に開かれます。また、臨時会は必要に応じて随時開かれますので、皆様もお気軽に傍聴においでください。詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

●6月定例会は6月25日から開かれる予定です。